

2023 年度関西学院千里国際中等部・高等部 学校評価を終えて

“researchers who have studied culture have tracked and demonstrated a strong and significant correlation between organizational culture and an organization’s performance. Once principals understand what constitutes culture – once they learn to see it not as a hazy mass of intangibles, but as something that can be pinpointed and designed – they can start to execute a cultural vision.” Leah Shafer (July 2028) *What Makes a Good School Culture?* Harvard Graduate School of Education

「(組織内の)文化を研究してきた研究者たちは、組織文化と組織の業績との間に強く顕著な相関関係があることを突きとめ、実証してきました。校長が文化を構成するものを理解すれば、つまり文化を曖昧な無形の塊としてではなく、ピンポイントでデザインできるものとして捉えることを学べば、学校文化のビジョンを実行に移し始めることができるのです。」

今年度の学校評価をまとめながら「学校文化」について考えました。完全な第三者によるものではなく、自己評価に近い形態の学校評価であるために、総合的に見ると甘くなる可能性も厳しくなる可能性もあります。しかしながら、引用にあるように、組織の文化と業績・成果には確実に相関関係が存在します。その視点から考えると、私たちの学校の「文化」を構成する要素には強い部分とそうでない部分があることが予想できます。

“*Culture is connection*” Lear Shaferであることを銘記して、私自身が生徒、保護者、教職員の一人ひとりとつながる努力を続けたいと思います。そしてこのコミュニティの成員もそれぞれがつながる努力をしてほしいと願っています。

2024 年度の学校評価の結果に何かがあらわれるかもしれません。

最後に、今年度もご多忙の中、私たちの学校の様子を丁寧にお調べくださったお二人の評価者の先生方に心からお礼を申し上げます。ご指導いただいたことを確実に活かしていこうと思います。

2024 年 3 月 15 日
関西学院千里国際中等部・高等部
校長 萩原 伸郎

学校評価

教育理念・使命・目標

二つの学校、一つのミッション Two Schools, One Mission

私たちの学校に通う生徒たちを、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」
“Informed, caring, creative individuals contributing to a global community” に育てると
いう使命を掲げている。具体的には、一人ひとりの生徒が

自分自身の知識、能力、資質の獲得は常に主体的で意欲的であること。そしてその営みが生
涯続くことを認識していること。

与えられるのを待つのではなく、自ら学ぶ姿勢と習慣を持つこと。

明確な Identity(自分らしさ)を持つこと。

自身に内在する文化だけでなく、他の文化も同様に認識し共感すること。

人々の思考、行動、価値観や物事の多様性を理解し尊重すること。

自他の生活や心身の健康、幸福について Empathy 共感や Compassion 深い同情の感情を持
って考え行動すること。

常に現状を良くするための方策を探り、創造的に解決する習慣を持つこと。

自分自身の能力を成長思考でとらえることができるだけでなく、他者の成長も信じてい
ること。

予想しなかった問題に直面したり継続することが困難な状況になっても、常に可能性を信じ
前に進む根気や忍耐力を持つこと。

あらゆる創造物にたいして真価を理解し感動し、自らも創造に加わること。

地域や世界における自分の役割を認識し適切に行動することができること。

互いのかかわりを認識し、多言語多文化環境に対応できること。

リーダーとして、あるいは建設的で生産的なチームの一員として社会や組織の中でやるべき
ことを認識し自主的に行動することができること。

SOIS の教育活動の核である「5 Respects」“Respect of Self, Respect for Others, Respect for Learning, Respect for the Environment and Respect for Leadership” がこれらの具体的な目標を具現化する際の精神的指針、行動規範として生徒だけでなく教職員の意識の中にも存在している。

2023 年度の評価項目

- 1 関西学院のアイデンティティー共有 「We are the KG family」
- 2 学習活動について 「深い学びのために」
- 3 学校生活について 「一人ひとりを育てる」
- 4 環境と学校文化について 「わたしにとっての SIS」
- 5 コミュニケーション、情報について 「伝えること、伝わること」
- 6 生徒成長指数 「今の自分」

2023 年度の評価項目とテーマ、自己評価、目標、具体的な取組の状況とその効果に対する評価、今後の方策

評価項目 【テーマ】	関西学院のアイデンティティー共有 【We are the KG family】	自己評価	A
目標	関西学院をより身近に感じる		
具体的な取組の	(具体的な取組の状況)		

状況とその効果 に対する評価	● 関西学院初等部から中等部に 10 名入学。 ● 7 年生のアイスブレーキングキャンプ、10 年生の秋休み中のアクティビティに関西学院千刈キャンプ場を利用。 ● 年度の初めに教育学部と、年度の中頃には商学部と連携活動についてブレインストーミングの機会を持った。 ● 関西学院大学主催 AI 活用ワークショップに参加。 ● 関西学院大生と SIS 生による小学生対象の AI 活用プログラミングワークショップを SOIS で開催。 ● SIS の保護者会 SISPA 主催の上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパスツアーに 50 名が参加。中道院長と面会。 ● SIS11 年生が大学ツアーと特別講義に参加。 ● SIS11、12 年生がフィールドスタディーで大学各研究室、図書館を訪問。 ● 関西学院大学の教員による SIS、OIS での特別授業。 ● 夏期休業中に関西学院大学の特別講座に SIS 生が参加。 ● KG All Star Camp を SIS 教員が企画し、8 月に実施。 ● 関西学院大学同窓会北摂支部を窓口として関西学院初等部生を対象とする SGDｓ＋アートワークショップを SOIS で開催。SIS 生のリードのもと初等部生 22 名と保護者が参加。 ● 関西学院高等部の選択科目「舞台表現」を SIS 教員が年間を通して担当。 ● 関西学院高等部生による学校訪問、授業参観。 ● 関西学院初等部での学校説明会、初等部生の SIS 訪問会を実施。関西学院中学部での学校説明会を実施。 ● 関西学院の各学校の宗教主事の先生方による学校訪問。 ● 関西学院クリスマスツリー点灯式に SIS12 年生が参列。 ● 関西学院高等部主催『探究の集い』に SIS11 年生が参加。 ● KG PITCH 2023 Winter に SIS11 年生が参加。最優秀賞受賞。 ● 『関学スポーツ』の定期購読。(SIS 卒業生が部員) ● 関西学院大学体育会学生本部による院内推薦者への説明会開催。 (取組の効果に対する評価) ()内の数字は昨年の結果。 ● 関西学院が掲げる「世界市民」を SIS の教育にも敷衍しているという認識度・共感度は高い。生徒 82% (80)、保護者 75% (77)、教員 74% (74) ● 学びたい科目があれば関西学院大学に進学することをすすめている(保護者・教員)、考えている(生徒)かという質問には生徒は 62% (57)、保護者は 65% (66)、教員は 61% (63) が共感した。2023 年度の関西学院大学への進学者は 60% (50) だった。 ● SIS は関西学院の他の学校と連携して学んだり活動したりする機会があるかという質問に対しては生徒 43% (45)、保護者 51% (41)、教員 30% (32) が共感した。
今後の方策	● 関西学院大学や各学校との連携や交流にこれまではなかった確実な深まりがあった。さらに学習・課外活動のパートナーとして交流の機会を探っていきたい。 ● 宗教主事の着任で SOIS がこれまで関わることのなかった関西学院の宗教活動に加わることができたこと、生徒や教職員が活動やイベントに参加することができたことの効果は大きい。来年度も参加の幅や量を増やしていく。

評価項目 【テーマ】	学習活動について 【深い学びのために】	自己評価	A
目標	深い学びに関する実践研究を学校全体で進め、より多くの学習活動に深い学びを実現する。		
具体的な取組の状況とその効果に対する評価	(具体的な取組の状況) - 職制を改訂し、教科主任の配置と手当が公的に認められた。各教科内での学習内容・方法・評価の実践研究のリーダーシップをとることを明確化した。 - 全教科の今年度重点テーマとして「深い学び」を選び、Idea Forum の時間に話し合いを重ねた。『Deep Learning』 Michael Fullan 著を共通の専門書をして活用して、教員間で読み深めた。 - 知識、能力、資質の要素として 6 Cs (Character, Citizenship, Collaboration, Communication, Creativity and Critical Thinking) を学習活動を通して意識して育む試みを始めた。 10 月に開催した SOIS Learning Fair には 100 名を超える参加があり、そこで深い学びの実践の中間発表を授業を通して紹介した。 - 毎学期ごとに教科担当が学習内容、教材、評価を明記した Course Description を作成して Portal を通して生徒と保護者に提供するシステムが定着した。 - 帰国生の学習支援をするブリッジングセンターに関わる教員が増え、質の高い支援を継続した。 - 各学期ごとに保護者の授業参観、秋学期最終日の保護者と教科担当者との面談(7、8 年生)を実施した。 - アセスメントポリシーを再改訂し、課題や評価の際の不正防止や AI 活用の手順を明確に提示した。 7 年生から 12 年生までの探究学習の系統性が明確化した。そして、各学期の最終日には、教科・探究学習の成果の発表会が定着した。 (取組の効果に対する評価) ()内の数字は昨年の結果。 - SIS の学習活動を通して自分の(生徒)、子どもたちの(保護者・教員)知識は広がっているという質問に対して、3 者共通に共感度が高かった。生徒 88%(88)、保護者 82%(88)、教員 83%(98)。 - SIS の学習活動を通して現在と将来の自分に(生徒)子どもたちに(保護者・教員)必要な能力を伸ばしているかという質問に共感度が高かった。生徒 82%(82)、保護者 85%(81)、教員 82%(91) - SIS の学習活動には自分が(生徒)、子どもたちが(保護者・教員)夢中になる要素があるという質問にも共感度が高かった。生徒 75%(73)、保護者 76%(74)、教員 74%(89)		
今後の方策	- 深い学びに導くための学習内容や方法について継続的な実践研究を進めていく。 - 評価カレンダーを教員、生徒が共有しテスト日や提出物の期限日の重複を避ける習慣を教員全体として持つことが必須であると同時に、評価の種類、時期、回数について議論を広める。 6 Cs についての共通理解を深め、教員間の浸透度を上げる努力が必要。 - 教員間の授業観察は実施方法を換えて、より多くの教員に参加しやすく意味のあるものへ改良された。		

評価項目 【テーマ】	学校生活について 【一人ひとりを育てる】	自己評価	B
目標	成長を見守る仕組みを作り実践する。		
具体的な取組の 状況とその効果 に対する評価	(具体的な取組の状況) - 学年主任のリーダーシップのもと、学年やホームルームの健全な運営、生徒や保護者との安定したコミュニケーションが継続された。 - 生徒に問題や事件が発生した際には、初期対応に課題があった事例も存在したが、いずれの場合でも、学年、生徒生活主任、生徒支援チーム、管理職が共同して問題解決にあたった。 - 生徒支援チーム(カウンセラー、ブリッジングセンター、特別支援)、生徒生活主任による個々の支援活動とチームとしての連携や情報共有が機能している。 3階の改装により、生徒支援のスペースが生まれ変わり、有効に活用されている。 - Two Schools Together の理念をさらに広げる取り組みが実践された。7年生では OIS とのキャンプが2回実施され、9年生の SOIS としての学年旅行も成功した。3月には8、10年生を対象にする新しい SOIS キャンプが開始された。 - 生徒会が主催する SOIS の全校行事がすべて復活し、成功を収めた。 - 学校に来ることに様々な課題がある生徒には個別の対応が用意され、少しずつ成果を上げている。 - 生徒間の摩擦や人間関係の問題が発生すると、生徒が教員のところに相談に来る習慣が定着していることから、早い時期に解決の手立てを打つことができた。 - COVID-19 やインフルエンザの罹患者が増加した時期が数回あったが、長期化することはなかった。 (取組の効果に対する評価) ()内の数字は去年の結果。 - 学級担任や教科担任が一人ひとりの生徒の生活や成長の様子を見守る仕組みと習慣があるという質問に対して、3者共通に共感度が良好だった。生徒 70%(71)、保護者 71%(73)、教員 74%(63)。 - 私は(生徒) 子どもたちは(保護者、教員) 先生方や他の人たちと良い人間関係にあるかという質問についても共感度が良好だった。生徒 76%(77)、保護者 77%(83)、教員 91%(92)。 - SIS は様々な行事や文化を通して生徒たちに豊かな学校生活を提供しているという問いに高い評価が出た。生徒 85%(83)、保護者 84%(83)、教員 70%(77)。		
今後の方策	- 一人ひとりの生徒の生活・成長の様子を見守ることは学校として最も大切な責務であることを教員が共通理解をして、その習慣と仕組みの強化を図っていく。 - 日々のホームルームの時間の有効な活用、個人面談の機会や場所の保証など学校として協議を進める。 - 学校行事やキャンプなどの内容の充実に向けて話し合いを継続する。 - 心身の健康を維持する習慣や事故から身を守る習慣など、丁寧に指導していく。		

評価項目 【テーマ】	環境と学校文化について 【わたしにとっての SIS】	自己評価	B
目標	SIS らしさを追求する。		
具体的な取組の 状況とその効果 に対する評価	(具体的な取組の状況) - Two Schools Together の理念をさらに広げるための新しい取り組みが学校行事、キャンプ、学習活動の場面で実践された。 3 階のカウンセリングエリアを夏に改装し、個人の学習スペースを創出した。 - 生徒の主体性や自主的な活動(スチューデントエージェンシー)を促す機会を提供し、有志がイベントを企画運営する 1 週間を夏期休業中の初めに実施した。 - Sabers (スポーツ系のクラブ活動)を通して国内外のインターナショナルスクールとの対外試合、遠征が復活し良い成果を上げた。教職員や保護者の熱心なサポートがあった。 - SISPA (保護者会)と学校の協力関係がさらに発展し、SISPA のホームページを学校の Google Workplace に移行した。テクノロジーのサポートや保護者メールアカウントの共有手順が改善された。危機管理の手順について協議を継続した。 - SISPA 主催のインターナショナルフェアは昨年を大きく上回る規模で 11 月 11 日に開催された。収益金は約 34 万円 (昨年度 255,143 円) - PR マーケティングチームからの情報発信や SNS へのポストは SIS や SOIS の特徴が強調される媒体やデザインに統一した。 - 入学希望者を対象としたキャンパスツアー、ワークショップ、オンライン学校説明会を 11 回実施し、延べ 1218 人の参加があった。すべてのイベントのホストは在校生が務め、来校者に好評だった。 - 近隣の住民や施設から生徒の行動に何らかの指摘を受けた際には、ビジネスオフィスと管理職がすぐに対応し、問題が長期化する事例はなかった。 (取組の効果に対する評価) ()内の数字は昨年の結果。 - 環境についての評価を的確に確認するために今年度の設問を変更した。 (昨年度まで「SIS は学びやすい環境だと思う。」) SOIS は生徒に良い環境を提供しているという質問に対しての共感度は生徒 90%、保護者 84%と高く、教員からは約半数からの共感を得た。 - 学校文化についての設問も今年度からあらたに加えた。 SOIS には良い学校文化があると思うという質問に対しての共感度は生徒 87%、保護者 84%と高いが、教員は 69%だった。 - SOIS はさらに良い学校になる努力をしているという問いに生徒と保護者から良好な共感を得たが教員からの評価は低い。生徒 71%(69)、保護者 75%(76)。教員 48%(80)。		
今後の方策	- SOIS が真に SOIS らしく存在するためには、独自性をすべての教育活動のなかで実践していくことを継続する。 - SOIS や SIS の文化の共通理解を深めること、そして新しい文化も生み出していくという意識も育む。 - PR やマーケティングの改革が良い成果を出しており、さらに新しい取り組みや既存の方法の工夫を図っていく。 - 第 4 期の改修工事で 2 階の教室や教科研究室的改装を実行する。 - 経費削減のため校内清掃の回数や作業内容が減少した現状を改善する。		

評価項目 【テーマ】	コミュニケーション、情報について 【伝えること、伝わること】	自己評価	B
目標	ステークホルダーとどうつながるか。		
具体的な取組の 状況とその効果 に対する評価	(具体的な取組の状況) - SOISmail アカウントを生徒、保護者、教職員が有効に正しく活用した。Google Workplace の全機能も効果的に活用している。 - 卒業生の保護者、転退職者の SOISmail アカウントは 2 ヶ月後に削除する規則を決定し実行。 - SIS のホームページを刷新し、SIS らしさが伝わるようなサイトに改善され、現在も改良中。生徒、保護者、教職員のポータルサイトにも改良を加えた。 - eNews は毎週金曜日に約 1,100 人の読者に配信され、平均 90% のオープン率を達成している。 - 重要なポリシーの作成作業を進め、ポータルサイトを通して共有した。 - PR マーケティング方針を変更し、学校案内等の紙媒体は可能な限りデジタル化、オンライン化した。 - キャンパスツアーやワークショップの宣伝、募集、参加者管理を新しいアプリケーションを採用して実行することで、効率性と注目度を上げること成功した。 - アドミッションズチームと入学希望者、受験生とのコミュニケーションの的確さやユーザーフレンドリー度は安定している。年間を通して、海外からの学校訪問や相談を柔軟に受け付けている。 2024 年度入試の出願者数(228 名)は、3、6、8 月の帰国生入試は未定だが、2023 年度入試の総出願者数(202 名)を超えている。2022 年度は 268 名。 (取組の効果に対する評価) ()内の数字は去年の結果。 - 保護者や生徒が先生や学校と必要な時に的確にコミュニケーションを取ることができる仕組みがあるという質問に対しては生徒 81%(80)、保護者 76%(72)、教員 82%(26) と高い共感を得た。 - 必要な情報が適切に伝えられているという質問に対しては生徒 64%(68)、保護者 65%(63) と過半数の共感を得たが、教員 35%(21) からは低い評価が出た。		
今後の方策	- ステークホルダーが様々な方法でコミュニケーションをとることができる環境整備を継続する。 - オンライン上でのコミュニケーションだけでなく、対面の機会や場所の提供も学校として大切にしていける。(ミーティングルームの新設など) - アドミッションズチームが担当するオンライン学校説明会や個別相談などを通して情報は適切に伝わっており、このシステムをさらに支援する。 - PR マーケティングチームやボランティアの生徒たちの情報発信力をさらに活用していく。 - 必要な情報が伝えられているかという問いに対する共感が 3 者共通して減少している理由について調査する。 - 必要な時にコミュニケーションを取る仕組みがあるという問いには 3 者とも高い共感を得たが、去年の教員の回答(26%)が 82%まで上がった理由についても調査が必要。		

評価項目 【テーマ】	生徒成長指数 【今の自分】	自己評価	A			
目標	学校生活での充足度、感情の安定度、学習の充実度や成長思考を測定する					
具体的な取組の 状況とその効果 に対する評価	生徒成長指数とは					
	生徒成長指数（Student Thriving Index）は、生徒の社会的、感情的、学習、身体的な幸福感を形成的に評価するための資料。Character Lab の創設者兼 CEO である Angela Duckworth（ペンシルベニア大心理学教授）が、研究者のサポートと Character Lab のスクールパートナーからのフィードバックを得てこのツールを開発した。教育関係者や生徒からの意見は、学校生活の改善の過程に生徒の参加を促し、彼らの必要性に沿った内容を作成するために活用されている。					
	評価結果 （数字：上段 2023 年 中段 22 年 下段 21 年の％）					
	学校生活での充足度					
		Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree
	あなたはこの学校に合っていると感じますか	44	35	16	3	1
	Do you feel that you are a good fit for this school?	49	37	10	3	1
	SISにはサポートやアドバイスを求めることができる先生方がいますか。	43	37	17	3	1
	Is there an adult at the school you can go to for support and advice?	32	41	21	4	2
	SISにはあなたにいつも最善をつくしてほしいと期待している大人がいますか。	36	43	16	4	1
Are there adults in this school who always want you to do your best?	29	42	19	8	2	
感情の安定度						
	Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree	
最近あなたはどのくらい幸せに感じていますか	35	37	22	5	1	
How happy have you been feeling these days?	36	35	22	5	2	
最近あなたはどのくらいリラックスしていると感じますか	29	41	21	6	3	
How relaxed have you been feeling these days?	24	31	31	9	4	
	24	32	29	12	3	
	22	31	29	12	7	

	学習の充実感と成長思考					
		Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree
	他のことと比較して、教科の学習で成果をあげることはあなたにとってどのくらい重要ですか	38	39	20	2	1
	Compared with other things you do, how important is it to you to do well in your classes?	40	38	16	4	2
		43	37	16	3	1
	他のことと比較して、教科の学習はどのくらい興味深いですか	19	42	32	5	1
	Compared to other things you do, how interesting are your classes?	18	48	16	5	2
		19	42	32	6	1
	努力すれば教科の学習で良い結果を出すことができますか（成長思考）	55	33	10	1	1
	Do you think that if you work hard you can achieve good results in your studies? (Growth mindset)	54	34	9	1	2
		52	31	13	5	1
今後の方策	3年間の結果の動向は全体的に定着しており、生徒の肯定的な意識が表れている。一方で、中間層（どちらでもない）と感じている生徒が一定数いることの理由を調査する。 - 生徒のウェルビーイング（幸福感やリラックス感）を上げる努力を学校として取り組む必要がある。 - 成長思考を持っている生徒が9割に達することは、健全な学校文化が存在していることの相乗効果ととらえることができる。一人ひとりの生徒が成長の実感を感じられるような仕組みと成長を支える継続的な支援を続けていく。					

総合評価

- 2023年度 SOIS は初めて宗教主事を任命し、関西学院の教育理念を具現化する第一歩を踏み出すことができた。SOIS という独自性の強い環境でユニークなキリスト教主義教育を育てていくことを私たち教職員が意識する必要がある。これまで関西学院のアイデンティティを共有するという項目で期待通りの成果を上げることができていなかったが、今年度は大学や各学校との具体的な連携・交流の量と質が向上したこと、関西学院大学に進学する生徒が増加したことから A 評定とした。
- 新組織体制は 2022 年度から始まったが、今年度は職制にそれらが記載されたことで公的な意義を持ったことが大きな進歩と言える。学校や教育活動は着実に進歩し、様々な場面で良い成果を上げている。それらを讃える習慣や文化を育てていきたい。まさに、毎年総合評価で述べている通り「この学校組織・共同体を支え、前進していくことに直接関わる教職員の意識と仕

事の質が学校の発展の進捗・程度と相関関係にあること。そして、優れた学校とはどのような学校を指すのか、その具体的な実例を全教職員が共有すること、その実現に向けた熱意、使命感を持つこと。さらに小さな成果を全員で認めあい讃えあう文化を創出すること」という目的意識を組織としてより明確に持っていきたい。

- 学校は生徒の知的・社会的成長を助けるという存在理由を核として、学習や生活の場面で各自に充足感の高い経験を提供するために、教員各自が日常の振り返りと実践研究の習慣を持つことを今後も推進していく。
- 生徒、保護者、教員が水平な人間関係がありコミュニケーションが自然にとられていることがこの学校の特徴であるが、アンケートで明らかになったコミュニケーションや情報の伝達について、課題点を調査・分析し、改善を進めていく。
- 今年度もアンケートの提出は任意とし、例年通りの回答率となった。

2023 年度の評価をふまえて 2024 年度に予定している評価項目、テーマ等

- 1 関西学院のアイデンティティ共有 「We are the KG family」
- 2 学習活動について 「深い学びのために」
- 3 学校生活について 「一人ひとりを育てる」
- 4 環境と学校文化について 「わたしにとっての SIS」
- 5 コミュニケーション、情報について 「伝えること、伝わること」
- 6 生徒成長指数 「今の自分」

第三者評価／学校関係者評価

2023 年度の 6 つの評価項目【テーマ】における自己評価に関して、昨年度より数値が向上し、3 項目で A を達成していますが、学校評価に関わるデータ等の確認、学校訪問での生徒の様子、校長先生を始め教職員の皆様との懇談等を総合的に判断し、妥当な評価であると確信いたします。

全体として、萩原校長のリーダーシップのもと、教職員がチーム一丸となって、一人ひとりを丁寧に育てる素晴らしい学校組織が構成され学校運営がなされていると感銘を受けております。

教育課程（カリキュラム）や学校行事・文化を通して豊かな学校生活を提供され、SIS らしさを追求されておられるのも大きな特徴だと思います。昨年度の学校訪問時に、校長より経営方針や職員会議の改革、SOIS の教育理念、5 Respects のお話を拝聴し、授業も参観させていただきました。また、今年度は 11 月 17 日のプレゼンテーション日に同僚と参加し、生徒たちが主体的・自主的に学びに向かい、イベント全体を計画・運営し、各自が興味のあるテーマを探求し、熱心に発表したり、討論をしたりしている様子を拝見しました。英語で質問しても的確に答え、英語と日本語を自然に使い分けている様子に、まさに学校のモットーである、「知識と思いやりを持ち、想像力を駆使して世界に貢献する個人」、関西学院が掲げる「世界市民」の育成が具現化した姿、また、国際的コミュニケーション能力の醸成を見て取ることができました。国内外のインターナショナルスクールとの対外試合や遠征の復活も良い兆しだと思います。生徒が主体となり、教育活動が展開しているのが素晴らしいと感じます。

また学力などの認知能力に加え、非認知能力や汎用的スキル（リーダーシップ、コミュニケーション力、発表力、課題解決能力、メタ認知、思考力・表現力、忍耐力、多様性や異なる価値観の尊重、協働性、積極性、など）が長けていると感じました。それは生徒のアンケートの自由記述からも拝察することができます。彼らの様々な成長を支援する教員の存在はもとより、校風でもあったと感じました。今後も生徒のやる気と自己肯定感を育て、振り返りなどの形成的評価や e ポートフォリオなども取り入れ、自己調整能力を高めさせることで今以上に自律した学習者を育成することができると考えます。

評価項目の関西学院のアイデンティティ共有では、今年度初めて宗教主事の着任で宗教活動やイベントに参加できたことや、関西学院大学への進学者が 50%から 60%に増えているのは特筆すべきことではないかと思われます。これからも大学や各学校との交流の機会を増やし、実質的な連

携を進めていただきたいと思います。

深い学びの促進について、6Cs を意識した学習活動、deep learning の推進は、現在学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」が謳われており、アクティブラーニングが必要となります。また、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びが求められておりますが、本校のアンケートでも、生徒、保護者、教員のいずれも知識の広がりや、能力の向上に関して共感度が高い結果となっています。また、保護者も生徒の成長を感じ頼もしいと喜んでおられる様子などが自由記述からも読み取れ、確実に成果を挙げていることが分かります。

一方、SOIS は生徒に良い環境を提供しているか、さらに良い学校になる努力をしているかという問いに、昨年度から教員の評価が随分下がり低かったのが気になります。改修工事や経費の関係もあるかもしれませんが、今後検討が必要であるかもしれません。また、ホームページ刷新やポータルサイトの改良、アプリケーションの採用など仕組みを整備し、精力的に生徒・保護者に発信しているのは大変評価できるものの、必要な情報が伝えられているかの問いに対する共感が 3 者共通して減少しているところやや課題を感じます。特に教員が低い評価となっておりますので、問題の所在を明確にし、ステークホルダーと緊密に連携を取って広報を行い、保護者の理解と協力を一層得られる教育を進めていくことを願っております。

生徒成長指数を 3 年間縦断的に測定されておられるのも頭が下がります。ウェルビーイングは OECD の Education 2030 を始め、文科省でも昨今キーワードとなっておりますが、学校生活での充足度、感情の安定度、学習の充実感と成長志向、いずれも生徒の肯定的な意識が伺え、生徒が学校に対して期待をし、日々充実した学習や生活を送っていることが分かる結果となっております。教員自身もウェルビーイングを高めながら、省察を中心に授業研究や実践研究を行い、職能開発に取り組んでいけば、さらに魅力的な学校になるのではないかと思います。

萩原校長の 5 Respects が生徒の中に浸透し、保護者もそれを感じていることは 3 年間の大きな成果の一つだと心からの敬意を表したいと存じます。今後も引き続き、SOIS の独自性と教育理念を大切に、唯一無二の学校として、成長し続けることを期待しております。

千里国際中等部・高等部（SIS）の教育理念が教育活動の随所において具体的な形で具現化されていることが学校評価から伺えました。その具現化に向けて、職制の改訂から実践研究のリーダーシップが発揮できる体制を整え、アセスメントポリシーの再改訂にも着手され、より探究学習のための学習内容や方法の研究が進められたことによりその系統だった学習体系も整えられました。それが生徒・保護者共に理解され共感を持たれていることが強く感じられます。

さらに、常にステークホルダーとのコミュニケーションを意識され、情報発信力を高めていることから生徒・保護者との良好な関係構築もつながり、SIS の教育への理解・共感とともに学校生活の満足度にもつながっていると考えられます。また、教員にも SIS の教育をより良き学校に導こうとする意欲、熱意が高まっており、SIS 全体として生徒・保護者・教員の全員が支えあい、お互いを認め合って向上していこうとする文化が育まれていることを高く評価します。そして、何よりも生徒が一人ひとり大切にされているという実感を持てていること、学校に信頼を寄せて安心した学校生活が送れていることに大変大きな意義があります。

関西学院大学を含む他の学校との連携プログラムや交流が年々盛んになり、確実に関西学院のファミリーとしてのつながりが深まっています。今後ますます有意義な良き連携を深めていただき、SIS の持ち味、特徴を生かしながら「SIS らしさの追求」とともに、関西学院の教育理念の敷衍に励んでいかれることに大きな期待が持てます。

また、外部に対しても SIS の教育・研究活動を広く知ってもらえる機会を多くもたれて、積極的に外部への発信をしていることも高く評価されるべき点で、それが SIS への志願者増につながっていく流れができることを望みます。

宗教主事の着任も SIS にとって大きな変化ではありますが、キリスト教主義教育の浸透や、キリス

ト教主義校である関西学院の活動の参画も含めて、課題認識を持っている事柄を克服しながらより SIS の教育改革に力強くさらに邁進されることを願っています。

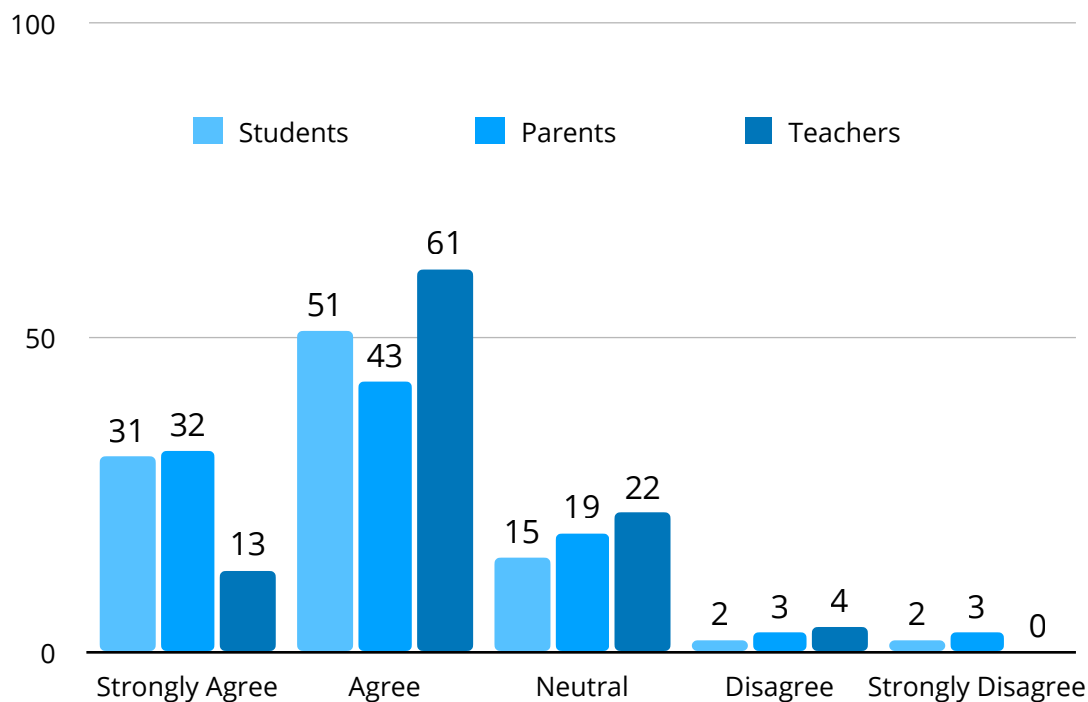
2023 年度学校評価

回収率 生徒 63%、保護者 51%、教員 66%

関西学院のアイデンティティについて About Kwansei Gakuin identity

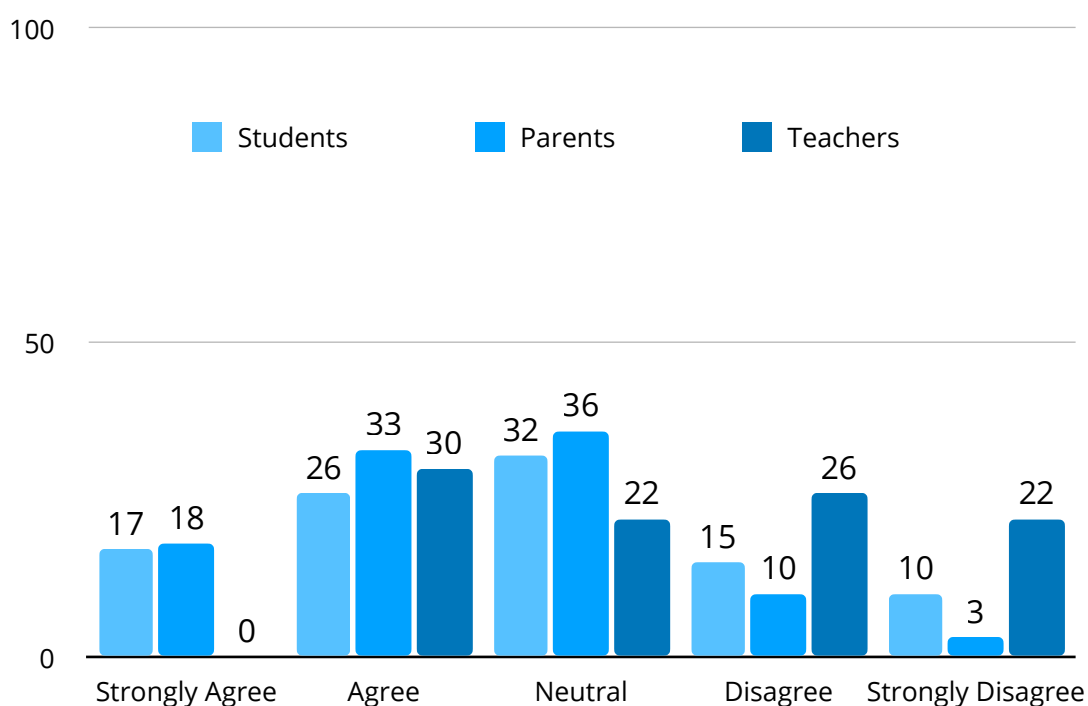
SISは世界市民を育成するという意識を持って生徒たちを育てている

SIS nurtures students with the awareness of developing world citizens.



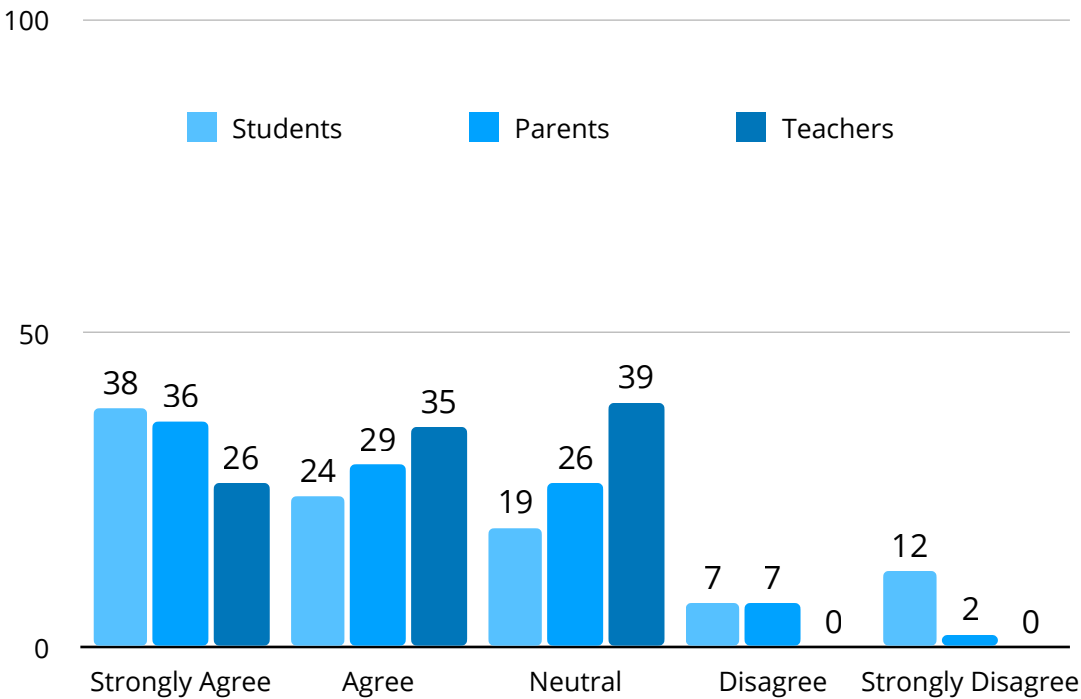
SISは関西学院の他の学校と連携して学んだり活動したりする機会がある.

SIS offers opportunities to learn and work collaboratively with other KG schools.



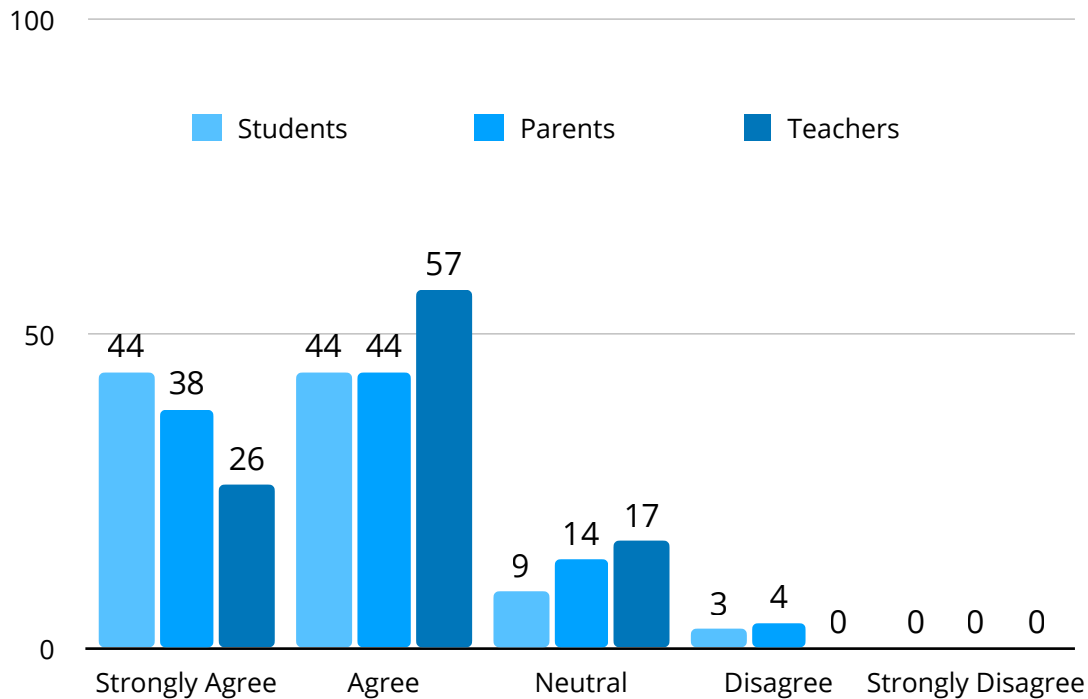
関西学院のアイデンティティについて About Kwansei Gakuin identity

学びたい科目があれば関西学院大学に進学することを **すすめている** (保護者・教員) **考えている** (生徒) | **encourage** my child/students to go to Kwansei Gakuin University if there are courses they want to study (Parents & teachers) | **am thinking** ... (Students)



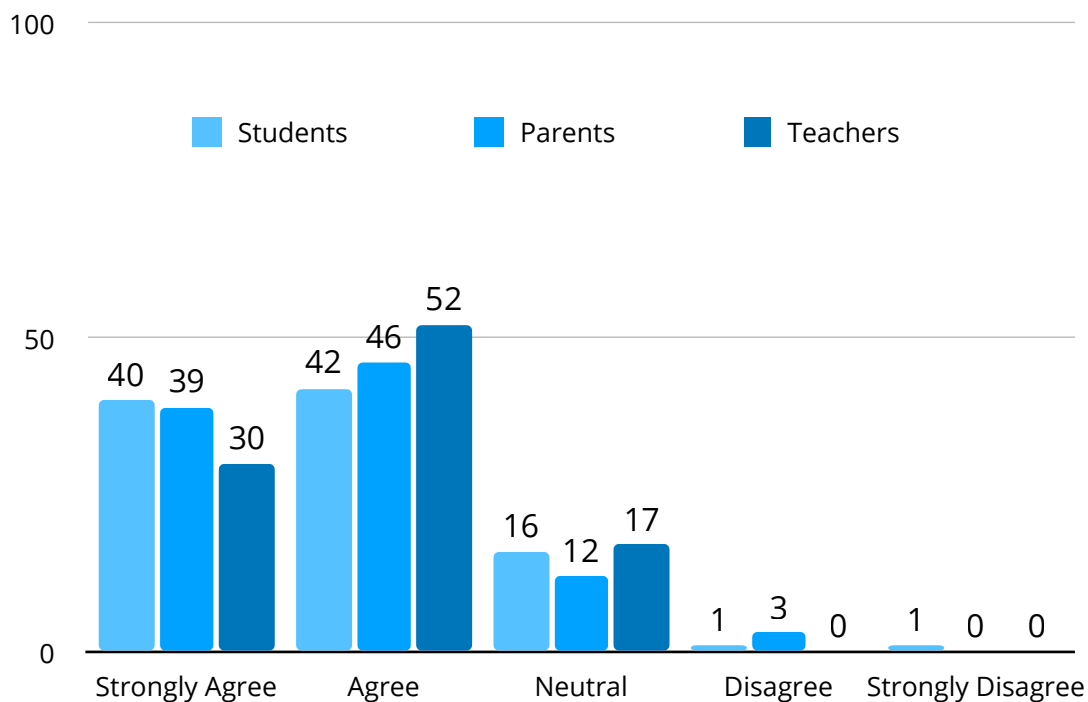
学習活動について About learning

SISの学習活動を通して自分の(生徒)、子どもたちの(保護者・教員)知識は広がっている。
My (Students) / the students' (Parents & teachers) knowledge has been broadened through learning activities at SIS.



SISの学習活動を通して現在と将来の自分に(生徒) 子どもたちに(保護者・教員) 必要な能力を伸ばしている。

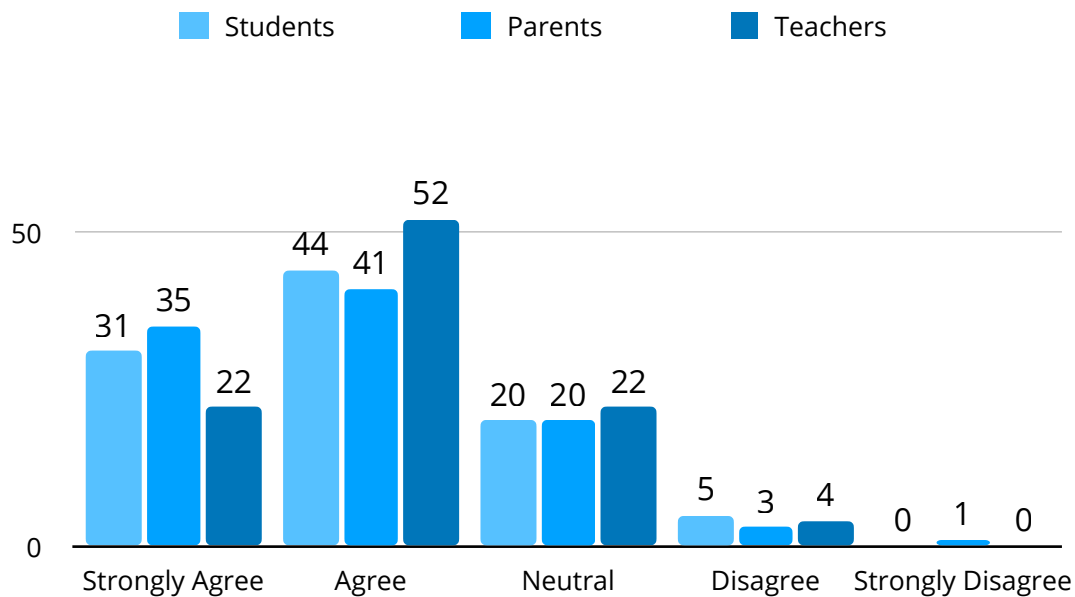
I am (Students) /our children are (Parents & teachers) developing skills for the present and future through learning activities at SIS.



学習活動について About learning

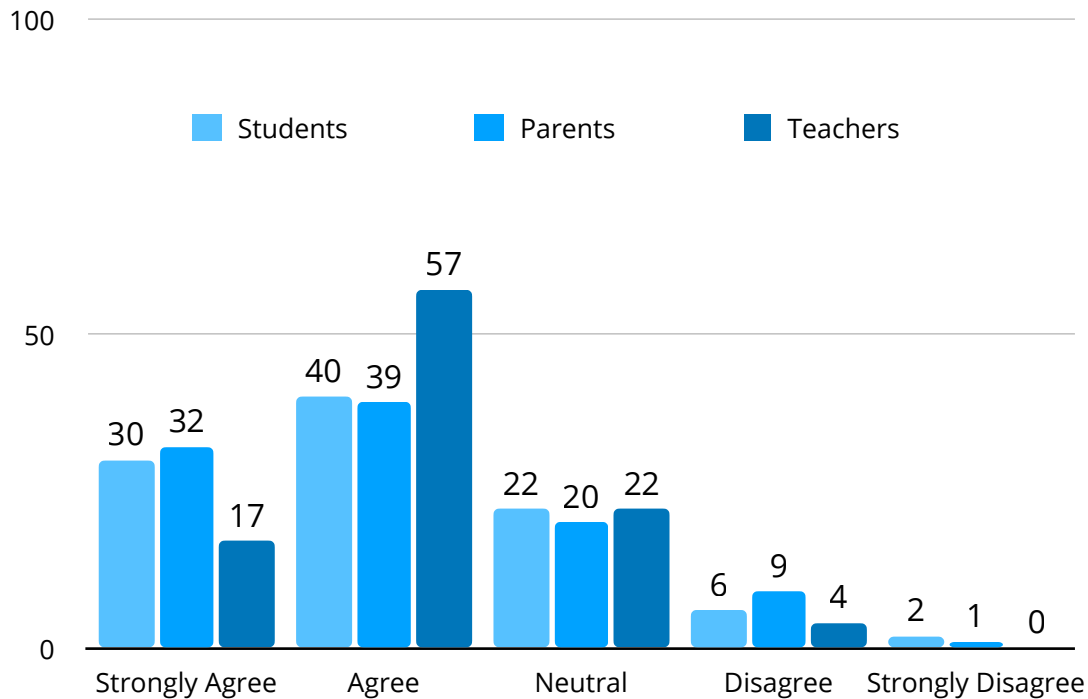
SISの学習活動には**自分が**(生徒) 、**子どもたちが**(保護者・教員) 自分が夢中になる要素がある。
The learning activities at SIS have elements that keep me (Students) /students
(Parents & teachers) engaged.

100

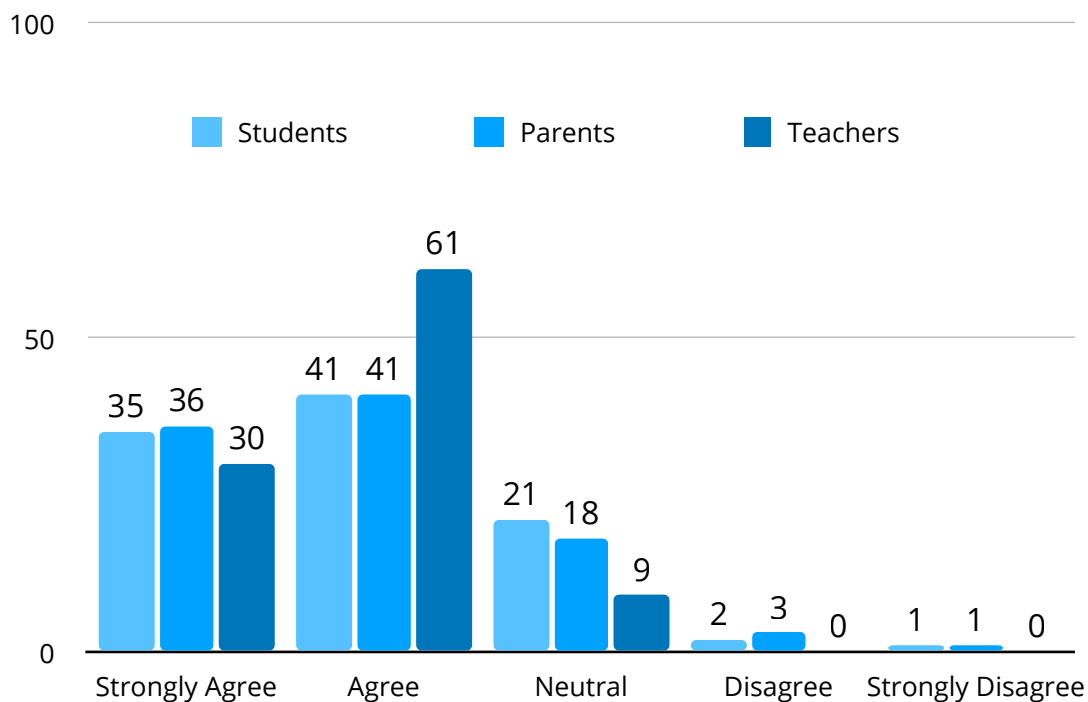


学校生活について About school life

学級担任や教科担任が一人ひとりの生徒たちの生活や成長の様子を見守る仕組みと習慣がある。
There are systems and practices in place for classroom and subject teachers to monitor each student's life and progress.

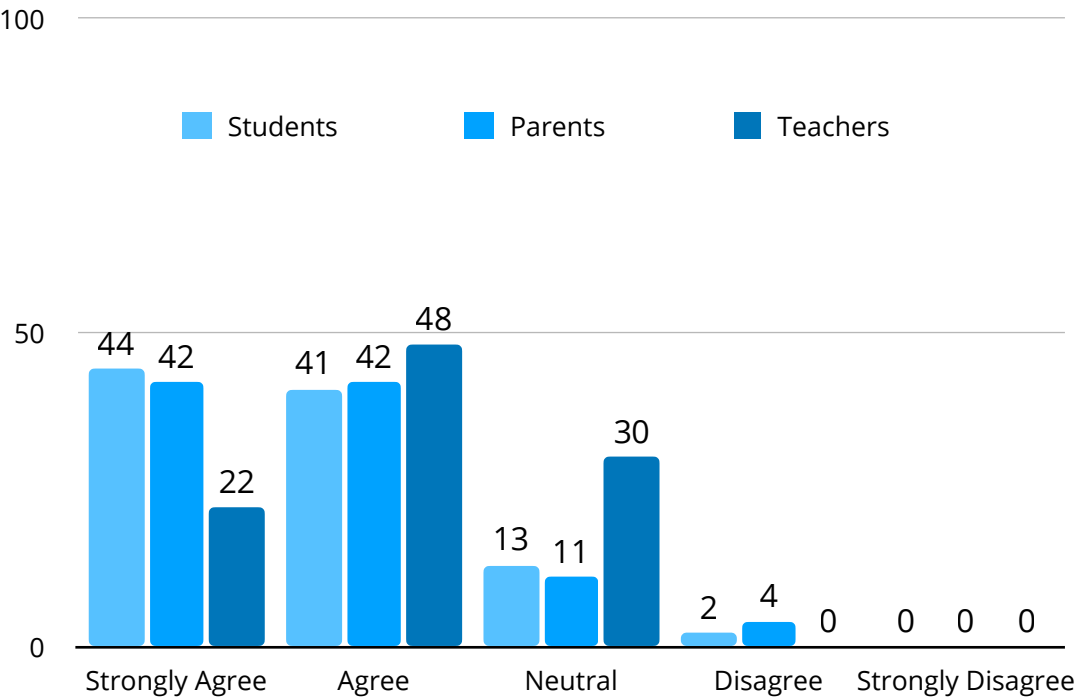


私は (生徒) 子どもたちは (保護者) 先生方や他の人たちと良い人間関係にある。 I (Students) / students (Parents) have a good relationship with my teachers and other students.
一人ひとりの生徒と良い関係を築くことを心がけている。(教員)
I try to build a good relationship with each student. (Teachers)



学校生活について About school life

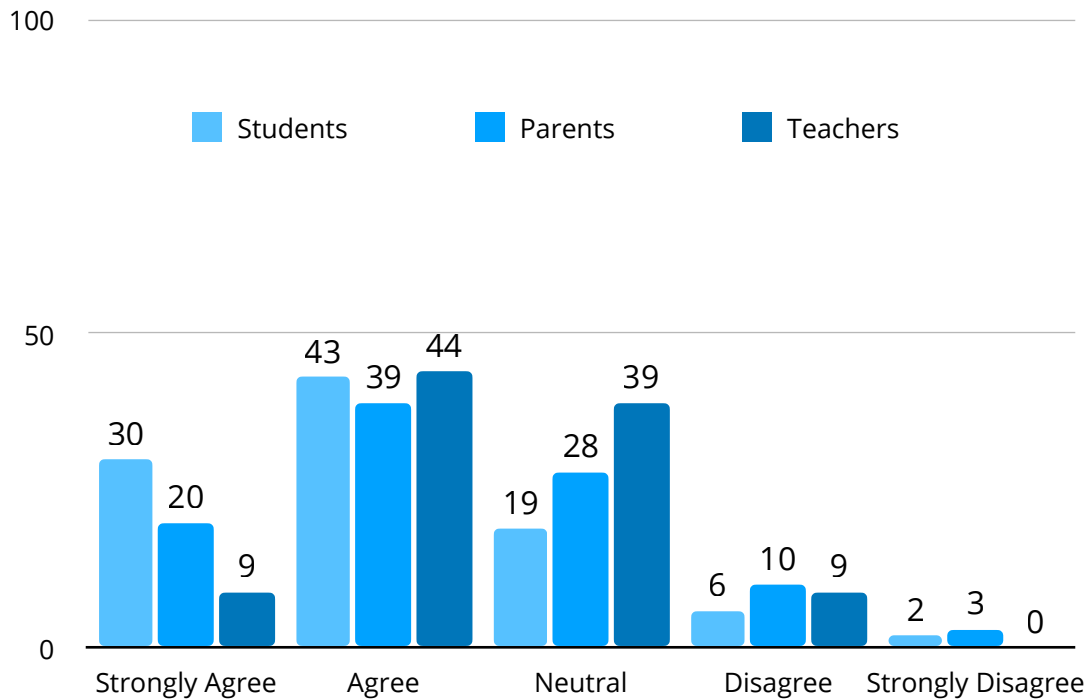
SISは様々な行事や文化を通して生徒たちに豊かな学校生活を提供している.
SIS provides a rich school life for the students through a variety of events and cultural activities.



学習・生活支援、進路について About learning and life support, and future pathways

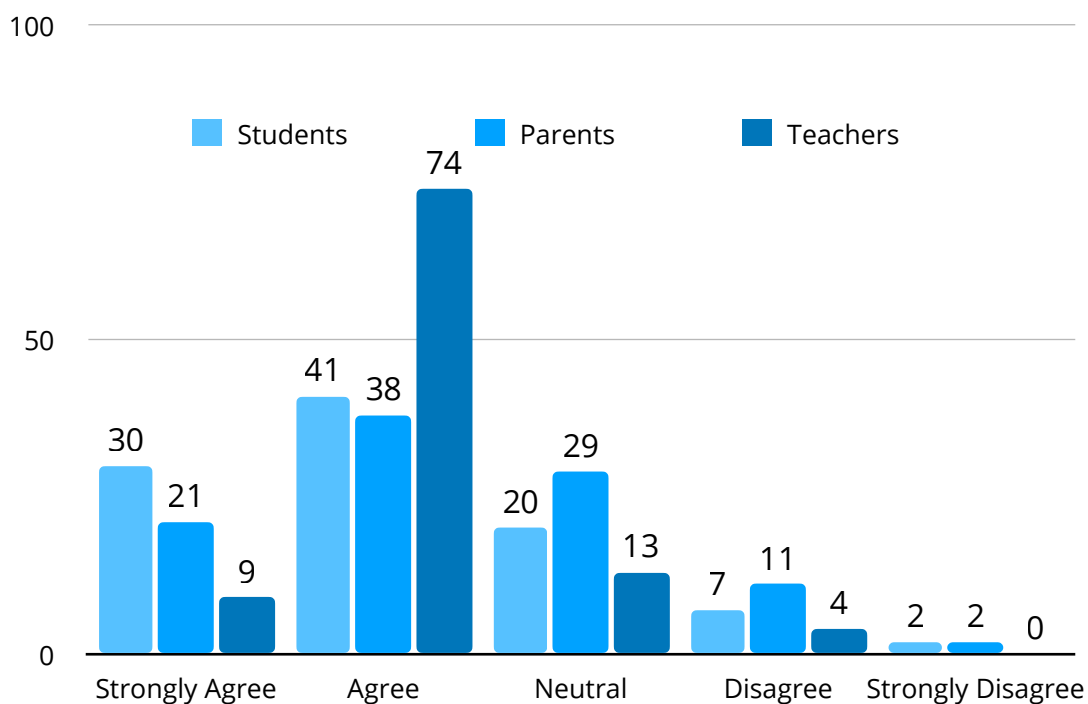
私は (生徒) 子どもたちは (保護者・教員)はカウンセリングや進路の選択について適切な支援を受けている。

Appropriate support is given to me/ the students in the area of counselling and future pathways.



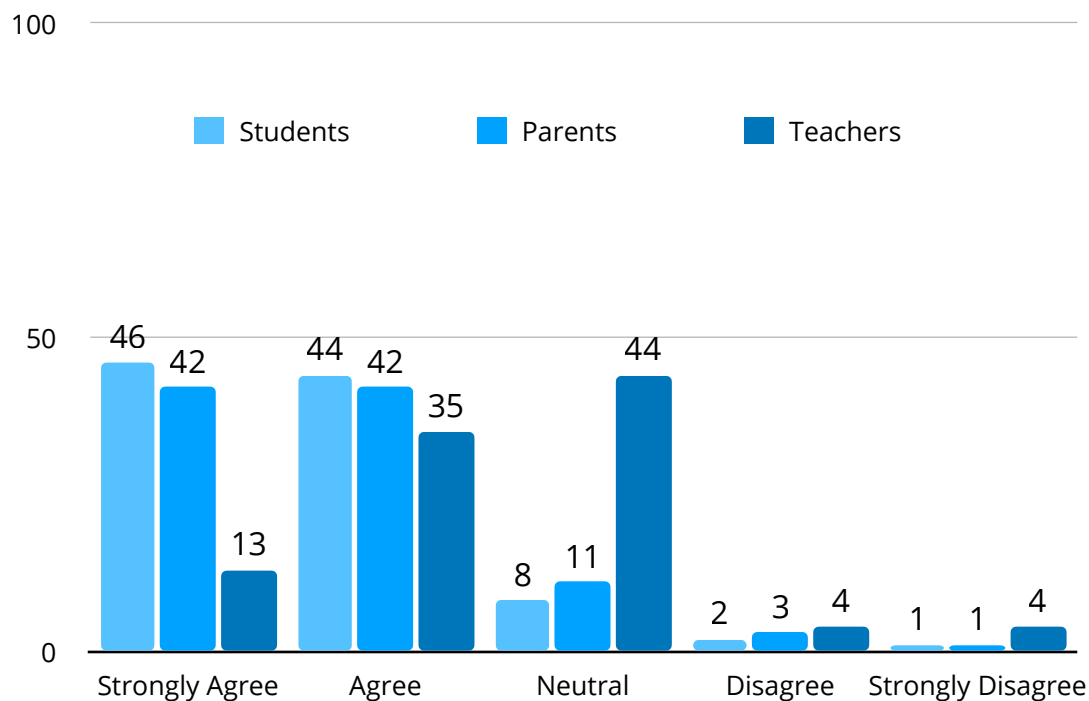
学習や生活、進路について相談する仕組みが用意されている。

There is a system in place for students to consult with teachers about their learning, life and future paths.

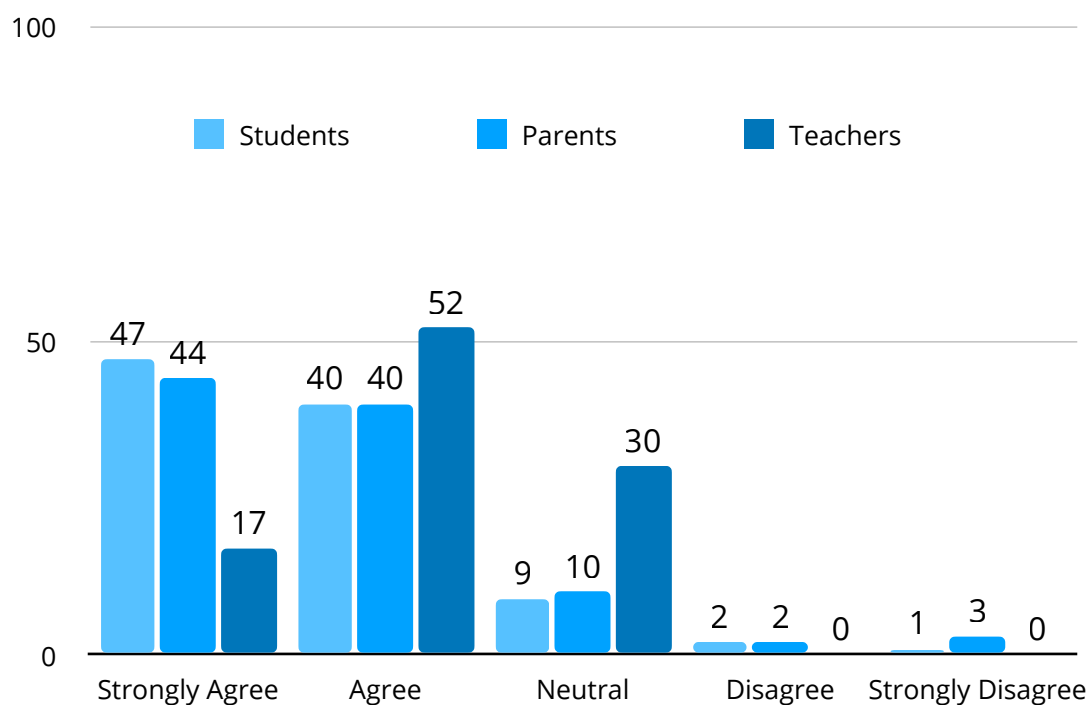


環境と学校文化について About our environment and school culture

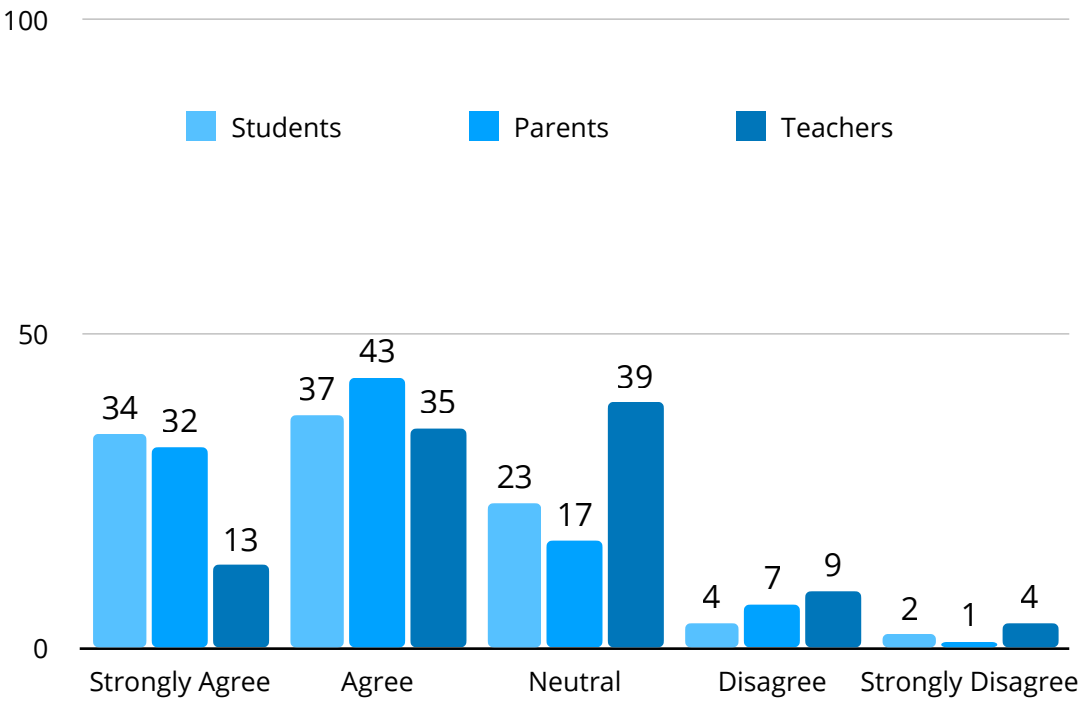
SOISは生徒に良い環境を提供している. SOIS provides a quality environment for its students.



SOISには良い学校文化があると思う. I think SOIS has a good school culture.

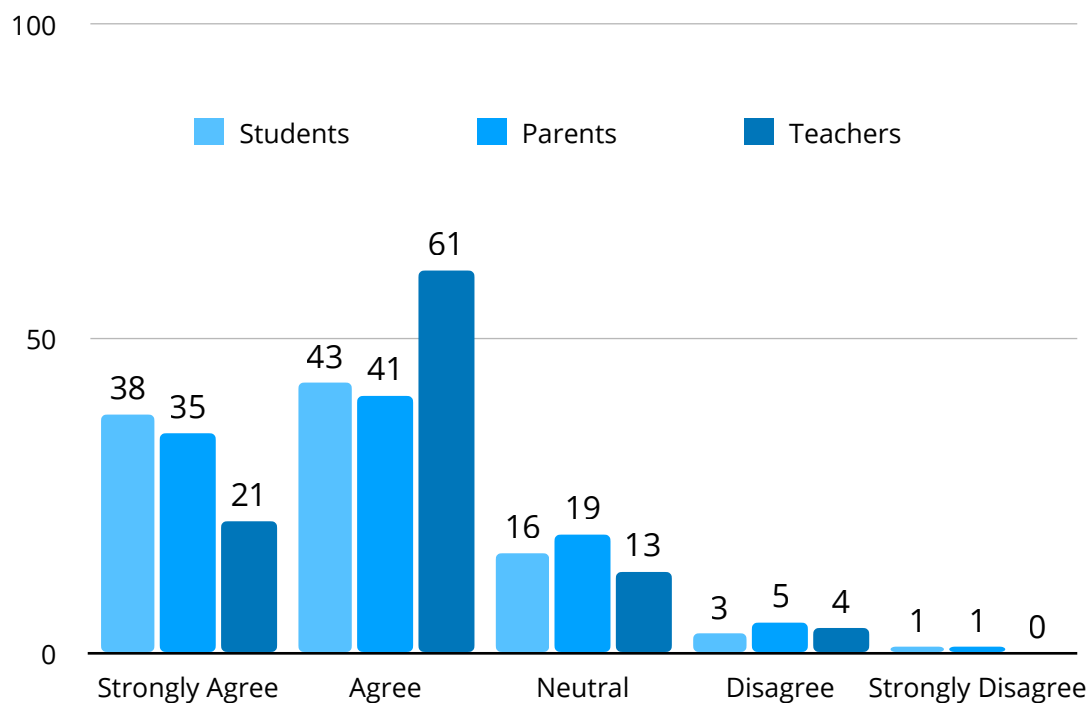


SOISはさらに良い学校になる努力をしていると感じる. I feel that SOIS is striving to become an even better school.



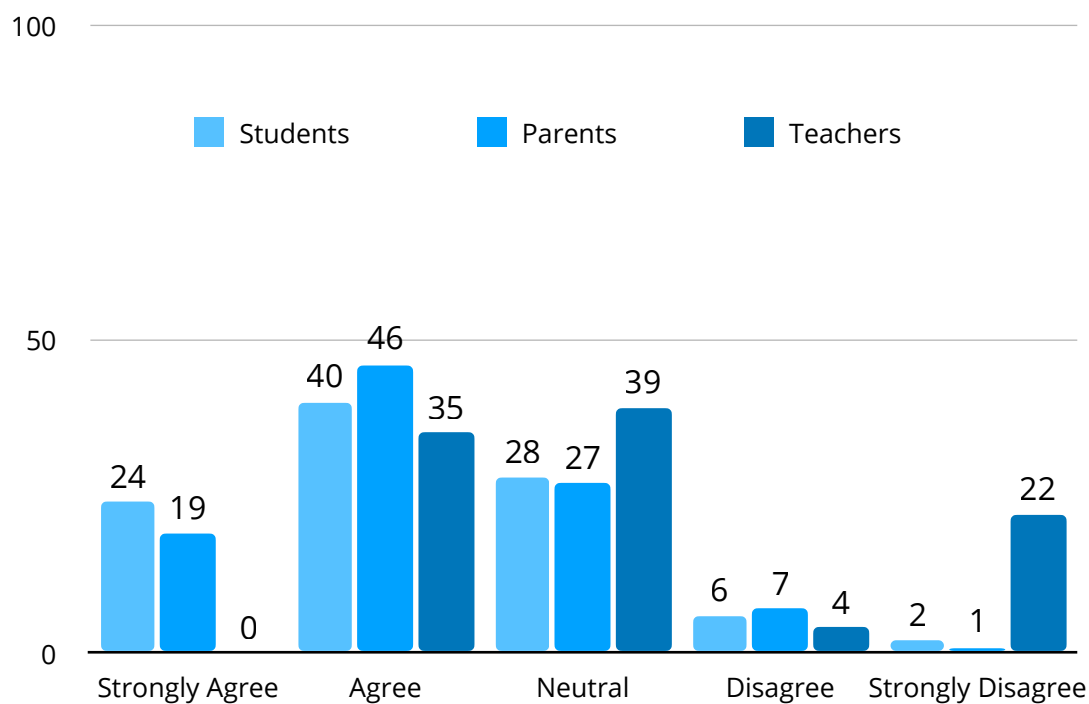
コミュニケーション、情報について About communication and information

保護者や生徒が先生や学校と必要な時に的確にコミュニケーションを取ることができる仕組みがある。 There are mechanisms in place to enable parents and students to communicate with teachers and schools appropriately when needed.



必要な情報が適切に伝えられている。

Necessary information is communicated appropriately.



生徒成長指数 Student Thriving Index

生徒成長指数（Student Thriving Index）は、生徒の社会的、感情的、学問的、身体的な幸福を形成的に評価するためのツールである。Character Labの創設者兼CEOであるAngela Duckworth（ペンシルベニア大心理学教授）が、研究者のサポートとCharacter Labのスクールパートナーからのフィードバックを得てこのツールを開発した。

The Student Thriving Index is a tool for the formative assessment of student social, emotional, academic, and physical well-being. Character Lab founder and CEO Angela Duckworth developed this tool with support from researchers on our network and feedback from Character Lab school partners. Input from educators and students helps to encourage student participation and create content aligned with their needs.

学校生活での充足感 Fulfilment in school life

数字: 上段 2023年 中段 22年 下段 21年の%

	Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree
あなたはこの学校に合っていると感じますか	44	35	16	3	1
Do you feel that you are a good fit for this school?	49	37	10	3	1
SISにはサポートやアドバイスを求めることができる先生方がいますか。	43	37	17	3	1
Is there an adult at the school you can go to for support and advice?	32	41	21	4	2
SISにはあなたにいつも最善をつくしてほしいと期待している大人がいますか。	36	43	16	4	1
Are there adults in this school who always want you to do your best?	29	42	19	8	2
	30	41	24	4	1
	36	41	23	3	2
	29	39	24	6	3

感情の安定度 Emotional stability

数字: 上段 2023年 中段 22年 下段 21年の%

	Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree
最近あなたはどのくらい幸せに感じていますか	35	37	22	5	1
How happy have you been feeling these days?	36	35	22	5	2
	29	41	21	6	3
最近あなたはどのくらいリラックスしていると感じますか	24	31	31	9	4
How relaxed have you been feeling these days?	24	32	29	12	3
	22	31	29	12	7

学習の充実度、成長思考 Fullness of learning, Growth mindset

	Strongly agree	Agree	Neutral	Disagree	Strongly disagree
他のことと比較して、教科の学習で成果をあげることにはあなたにとってどのくらい重要ですか	38	39	20	2	1
Compared with other things you do, how important is it to you to do well in your classes?	40	38	16	4	2
	43	37	16	3	1
他のことと比較して、教科の学習はどのくらい興味深いですか	19	42	32	5	1
Compared to other things you do, how interesting are your classes?	18	48	16	5	2
	19	42	32	6	1
努力すれば教科の学習で良い結果を出すことができますか (成長思考)	55	33	10	1	1
Do you think that if you work hard you can achieve good results in your studies? (Growth mindset)	54	34	9	1	2
	52	31	13	5	1

生徒への自由記述質問 この学年であなたはどのような成長がありましたか。どのような成果をあげましたか。どんな感動がありましたか。

- いろんな人と打ち解けるスキルがつけました。また、時間管理がさらに良くなりました。元々得意だったんですけど、課題が多く、習い事が増えて、さらに良くなりました。
- To become strong, ignore what others think of me, trust your ideas. This made me a completely different person which I also kind of felt uncomfortable of because, being me having the personality of "shyness" felt being normal. But "strong" is definitely not who I am, so I'm kind of stuck in the middle right now.
- 積極的に委員会に参加することができるようになった。
- きたばっかなのでそこまで変わらない気がする。
- いろいろなことに挑戦した。
- この学年ではコミュニケーションをうまく取ることができるようになりました。
- たくさんのクラブ活動に取り組んだ。
- 麻雀に出会えた。
- プログラミングとか。
- たくさんの国の人と関わるため、コミュニケーション力が高くなったと思う。
- 国際色豊かな環境で英語力の向上を図れた。
- 課題を去年よりちゃんと期限内に提出することができた。
- この学校についてもっと知ることができた。
- 前の学期は関わりのない人や話さない人が多くいましたが今学期は沢山のひとと話せて交わることができた。
- 自分はこの学年で自立と自律が成長していて、リーダーシップなどを見せることで成果を上げました。友情での感動がありました。
- この学年でポーランドの学生のホームステイを受け入れしていたので、英語のレベルや他の国の子達と仲良くなれた年でした。
- セイバーズ頑張りました。春学期ソフトでMVPいただきました。年間？のセイバーズの表彰いただきました。バレーボールJVでMVPいただきました。うれしかった。
- 文化祭の委員をし、やり遂げ、成功した。
- 自主的に勉強するようになった。
- Respect your selfのおかげで自分のやりたいことを存分にできた。
- 知識や友人、自分の成長があった。
- 英語の語彙力が以前より格段に伸びた。
- スケジュール管理だったり、やらなければいけないことをきっちりするという社会で活かせるようなスキルを得たと思う。
- 私はこの学校を通して自分の意見を周りの人を気にせずに言えるようになったし、自分のしたいことを見つけてそれに向けて熱意を注げる時間が十分に作れるようになりました。また、語学の面や人間関係でも、人と関わることに抵抗がなくなったし、友達を作ることが長所になった。
- 英語力を上げることができた。身長が10cmくらい伸びた。
- 多学年の友達が増えた。部活を真剣に頑張った。
- 演劇に出会えた。大阪府中学生演劇祭に出て教育委員会賞を取れた。
- 友達や人間関係に関して難しく思ったことがあったり、学校や他の勉強の両立が難しくなったりして、成長するにつれて変わったことというもののほうが多かった。あと、私の学年は男女の仲が元々そんなに平均的によくなかったけど、9年になってそれが良くなったというのがあった。
- 勉強。
- 人間は意外と優しいこと。混沌の中に生まれる楽しさ。
- 人との交流が増えた。リーダーシップをとる機会が増えた。

- 自分の将来やりたいことを考える機会が増えたことで、何がしたいのかを考え直すことができた。
- 成績が伸びた。
- 学び方、人との接し方を学んだ。
- 自分の思考力が中1の時よりも成長しているなと感じました。
- コミュニケーション能力が高くなりました。
- プレゼンなどで自分の意見を人に伝える力がつきました。
- 今年、友達とクラスが一緒になってより深くその人のことを知る機会があった。それによってその人の尊敬したいところや、真似したいところなどが見つかって、価値観が徐々に変わっていったように感じた。それを経て今は自分のToDoリストを作るようにしたり、ルーティーンを作ったりして、日々を前よりも充実させたものにできていると思う。来年はもっと英語を使う機会を増やしていきたい。
- SabersのクロスカントリーでAISAに行って精一杯走れた。走り終わった時の達成感が大きかった。
- 精神的に強くなりました。世の中には色んな人がいるんだなと思った。
- 自分が変わらないと他人はほぼ変わらない。
- 人の意見に流されないという感じで成長した。
- たくさんの人との新しい関わりや繋がり。
- 新しい友達がたくさんできた。また、課題への取り組みが変わった。
- 人間関係が良くなった。
- 新たな交流が増えた。
- 私はもっと時間の管理ができて、もっと英語を伸ばせたと思います。
- 英検準1級を合格まであと一問までたどり着けました。再来週、英検のテストがあるので、今度こそ合格できるように頑張ります。
- 大人になった自分のことを想像し夢を決めそれに向けてどのようなことをすればいいのかを知ることができた。
- 成績などがよくなった。
- いかなる時でも冷静に考えることができる場面が増えたと思います。あと、人の前での態度を良くするように意識していました。
- もっといろいろな人と関わっている。
- 自分の意見を出し、他の方の意見を聞きいろんなことを考えることができた。
- この学年で僕は自分の周りの人たちのことをよく見れるようになった。
- 筋を通すこと。
- バレー、演劇でとても成長したと思います。バレーでは最年少でWJAA, AISAの遠征に行き、さらにWJAAではMVPまで受賞できました。僕は8年からバレーを始めたのでとても成長できたと思いました。演劇では、音響、照明、役者、台本を経験をしたのでとても成長できたと思います。
- 学校のみんなとの出来事はすべて感動です。
- 内面での成長が多いと思う。私は行動範囲が比較的大きいと思うのですが、クラブ活動、自分自身の学習面でもいい成果があげれたと思う。たとえば、クラブでは部長になっていろんな活動や責任に触れさせてもらったり、他に積極的にイベントやボランティアに貢献できた。自分の成長を大いに感じます。内面では昔は自分に異様なプライドがあって、無根拠な自愛に溢れていて、少し厄介な性格をしていたけど、今ではだいぶトゲが治ってきたと思っている。優しく、心に余裕があり、相手を存分に尊重できる仲間と出会えたからだと思っています。皆の性格の良さに毎日感動しています。
- 勉強の知識が増えた。
- 身長が伸びた。
- 周りのひとと一緒に行動するようになった。
- 進んでリーダーになれるようになり、人をまとめるのが大変だけど、たまには楽しいと思えるようになりました。
- 大人らしくなりました。
- 課題をやるようになりました。

- ・ こつこつ努力をしたら絶対にできるということ。
- ・ この学校はプレゼンが多いのでみんなの前で発表するのが恥ずかしくなくなった。
- ・ いろいろなことが前よりもできるようになった。
- ・ 色々な個性を持った人がいて、心の視野を広くすることができました。みんな優しくしてくれて感動しました。
- ・ いろんな成長。
- ・ みんなと仲良くなることができて、困っている子がいたら、助け合うということが出来るようになった。勉強等でわからないところがあったら、友達同士で教え合うということが出来るようになりました。
- ・ みんな仲良くしてくれることです。
- ・ 私はみんなと仲良くすることが出来て、入学前に出来なかった英語が少しできるようになりました。
- ・ 人の気持ちを考えれるようになった。
- ・ 初めて弦楽器が弾けるようになりました。ヴァイオリンが少しずつ弾けるようになってきました。
- ・ 課題を出された日に終わらせれることが増えた。英語の発音が綺麗になった。らしい。
- ・ この学校に入って休みが多いことに感動し、野球に打ち込んで成長できた。
- ・ 成長したことは消極的から積極的に発表などができるようになったことです。
- ・ 校則が自由で過ごしやすい。
- ・ 友達と仲良くするのはもちろん、初対面の人でも相手の気分が悪くならない程度で仲良く話しかけることができるようになった。
- ・ 自分の英語の能力が上がった。
- ・ この学年で私が成長したことは周りの人の気持ちを読み取り、その人がやろうとしていることを考えることです。
- ・ 成長したことは相手の話に乗る事が多くなった！
- ・ この学年を通して自分のことは自分で管理する能力が成長しました。いろんな課題やテストがある中、自分で計画を立てて、実践することができました。
- ・ 自分の意見をしっかり持って発言できるようになった。自己管理ができるようになった。
- ・ コミュニケーション、他人と話せるようになった。
- ・ この学年で、私は英語をととても使い改善し言語の分野で成長がありました。去年の自分と比べて自分自身でも成長していることを感じ取れます。英語を友達と話す機会が多いので、たくさん話す機会がありました。
- ・ 私は千里国際関西学院中部で、この世にはいろんな性格や経験を積んだことのある人たちが沢山いること、そうゆう人達とどう仲良くなれるかななどを心から考え理解できるようになりました。
- ・ この学校に入ってからまだ少ししか経っていませんが、すごく楽しいです。先生方もたくさんサポートしてくれて、自分たちが新たな挑戦をできるよう色々な環境を用意してくれます。私はもともとクラスの前に出たり、グループワークでリーダーを務めるような性格ではなかったのですが、生徒会に挑戦してみたり、クラブをしてみたり、過去の自分には考えられないことがたくさん経験できています。
- ・ この学校に入って英語が伸びました。
- ・ 今まであんまり喋らず静かだったけど、今は色んな人と積極的に喋れるようになったことです。
- ・ 演劇部で役者をさせてもらって、人前に立った時の緊張が少なくなりました。中学演劇の秋の大会は辞退してしまったけれど、校内公演という形で公演ができて、とても嬉しく、「役者ってこんなに楽しいんだ。」という感動がありました。
- ・ 成長...英語のボキャブがたくさん分かるようになった。感動...みんな優しい。
- ・ 成長の点では、いろんなことに挑戦してみようという気持ちが以前より上がったと思うことです。この学校は自由なのでいろんなことに挑戦できて学べるからです。
- ・ 5リスペクトを学び少し実行することができました。
- ・ 初めての空間で初めての人たちと一緒に学習したり、新しい生活での工夫やこの学校の意味などを知ることができた一年でした。

- ・小学生の時は喋ることが苦手であり友達もいなかったけど、この学校に入学してから知らない人に声をかけ一緒に喋って友達をたくさん作ることができました。この学校に入って喋ることが好きになり学校の行事キャンパスツアーやASPにも出てみたくなりました！
- ・いろんな人に知り合えたり、もっと仲良くなれた気がしたし、いろんなことも学べた気がします。
- ・勉強に向けての知識が幅広く広がったと思います。そして、成績について気にするようにもなりました。
- ・友達と一緒に遊んだりした。
- ・英語を学ぶことができた。5 Respectsを意識する事によって入学前よりも言葉づかいが良くなった。
- ・英語がちょっと話せるようになった。秋学期の成績の平均が4.46だった。いい友達や、環境に出会えた。
- ・知の探検や美術で何かを創り上げたり発表したりするときなどクラスメートと何かを一緒にやり遂げた時感動しました。人と一緒に活動することで協力し、チームワークの能力が上がったと思います。
- ・今までよりも積極性、コミュニケーション力が高まったと思います。この学校のおかげで、ネガティブな考えをすることが少なくなれました。セイバーズやスポーツデイなどの学年関係なくたくさんの関わりがあったので、より楽しい学校生活を送れました。
- ・この学校に入学して、自主性を学びました。自分から行動を起こす大切さを知り、動けるようになりました。そのためクラブに応募したりキャンパスツアーの受付をしたりしました。また、チームワークのすばらしさを学びました。グループワークが多いため、他人とコミュニケーションをとりながら問題を解決できるようになりました。
- ・私は春学期、秋学期と比べて冬学期は相手の気持ちを考えて理解しようとする姿勢を持つことができた。そこから仲があまり良くなかった友達とも今はとても仲良くでき、たくさん話せることができた。たくさんのいい友達と出会えて自分の中で感動した。
- ・私はSISに入るまでは、外国のことは全く知らなかったし、英語も全く話せなかったのですが、SISに入ってから、日本や自分が知っている以上の国について知れたし、その国の文化や何があるのかも知れて、先生も優しく何かあった時にはすぐに対応してくれることもたくさんあったので、すごく入ってよかったと思いました。
- ・パソコンや携帯をうまく使えるようになった。あと英語が上手くなった。
- ・新しいスポーツに挑戦することができました。セイバーズという部活に入り、季節ごとにいろんな競技に挑戦しました。
- ・まずこの学校に入ってから、母からはよくはっきり自分の意見を言うようになったと言われるようになりました。でもこれはおそらく学校による影響というよりも自我が芽生えてきたということだと思います。私が感じている成長は勉強が好きになって勉強をすることについて深く考えるようになったことだと思います。そのおかげで今までは興味がなかったことにもたくさん考えるようになりました。これらはおそらくSISの課題や先生方の教えによる自然なものだと思います。
- ・自分が好きと思っていることに対して自由に全力で取り組めることができ、それに周りのクラスメンバーたちも頑張る時と遊ぶ時のメリハリの区別ができており、自分にもメリハリの面に対して凄く周りからの影響を受けながら成長する事が出来ていると感じています。
- ・科目以外にも普段の生活、友達との関わりからたくさん大切なことを学んで、様々な視点から物事を捉えたり、物事に対する思考力が深く身についたと思います。
- ・履修できる授業の範囲が広がり、自分の進路のために自分で物事を決断しようとする事ができるようになったと思いました。
- ・ダイバーシティを尊重し、互いに認め合う。
- ・他の人と協力して行事に積極的に取り組んだ。
- ・自分が小さい頃から好きな学問を高校生活3年間ブレずに好きであり続けることが出来た。
- ・サッカー、勉強。
- ・この学年になってからクラブでいろいろな活動を行っていく中で計画性や成長する力をはぐくむことができたと考えている。
- ・英検2級合格した。

- I was living abroad my whole life until a year ago, and my Japanese improved a lot.
- セイバーズを通じてHSの先輩たちとなかよくなりました。
- セイバーズを通じてOISの人たちと仲良くなった。
- 友達が増えた。
- 自分の意見をちゃんと伝えられるようになったと思います。この学年の男子は短所とも長所とも取れる正直に意見を言う生徒が多いため、自分の意見をちゃんとみんなに伝えられるようになりました。
- 演劇で主役をできるようになったり、演劇の知識が増えたりした気がする。
- 人と接することの大切さを学んだ。セイバーズでみんなで協力すること。
- 学校の先生とのコミュニケーションにおいて、フラットに話す時と真面目に話さなければいけない時など、その時に応じて切り替えができるようになった。
- この学年で、僕は学力が上がりました。理科や歴史など、他国でまともな授業がなかったため、学べて知識が高まりました。
- 人の気持ちを感じ取ること。
- 部活（SDGs for children部）での活動で大人の人にアポを取ったり、顧問の先生にメールをする機会が増えたので、大人の人への言葉遣いが上手くなりました。
- コミュニケーション能力が少しだけ成長した。全員フレンドリーですごく話しやすいことに感動した。
- 引っ越ししてきて、まだ3週間しか経っていないのですが、もう先生にいままで以上に質問できるようになった（もっと積極的になった）。
- 関西学院の教育方針を知ることができました。
- 勉強、ラグビー、メンタル。
- 学習能力が向上した。身長が伸びた。自分自身の力で物事を達成するという感動があった。
- クラス替えによって、新しい人と話せることによって沢山学ぶことができました。
- メンタル、成績、経験。
- いろんな人と話せたことで話題の出し方や話すときにどんな風にするのが失礼じゃないかが学べました。
- いろんなタイプの人と仲良くすること。同じタイプの人と話すより、考え方が広がった。
- 素敵な友達に出会えた。
- パソコンの扱いが7年生以上に成長しました。なので、学校のレポート課題がスムーズに進めることができたりタイピングの間違いが減ったりしてとても便利になりました。感動したことは入学した当時、パソコンを使ったことがあまりなかったということです。そこから2年弱たって、とても成長がわかりました。
- 課題や勉強を少しは自分で自己管理できるようになった。
- 友達ができた。
- 今まで自分が取り組んだことのなかったことなどに挑戦し、新たな経験を味わうことができた。
- 仲間と一つのことを目指して一生懸命頑張ることの楽しさを知った。その頑張りの成果が出たことにも感動した。自分個人としても、勉強面や精神面など様々な成長を感じる。
- 周りのペースに合わせず、自分のペースで過ごせることができたと思います。例えば、自分の好きなことをする時間を作ったり、自分の今までやってことがないことに挑戦しました。なので、この学年で自分をより確立できるようになったと思います。
- 自分の好きなこと、興味のあることをより極めた一年であった。
- 以前より自分の意見を言ったり自立した生活に近づくことができた。
- 計画的に動くことができた。
- 前よりも人と話す機会が増えたから友達と関わったり発表したりすることが楽しくなった。
- 日本語と数学のスキルを伸ばすことができ、それをとても誇りに思っています。
- 周りとの協力する力が成長したと思います。仲のいい友達が増えました。
- 私はこの1年間で体力をつけることができました。それは、放課後も家の家事をしたり、宿題をこなしたりできるようになったことです。体力がつくと、一日にできることが増えるので、7年生の頃よりも濃い一年を送っていると思います。

- ・自己管理をある程度自分でできるようになった。
- ・人間関係。
- ・僕はこの学年で協力して学ぶ成長がありました。自分がわからないことを友達と一緒に解決することが多かったです。数学や自分達の問題でも迷ったら手伝い合うという成長をしました。他に学校のフィールドに落ちているゴミなどを自然に拾えるようになっていました。そういう周りを見る成長もしました。
- ・この学年に入ってから友達がたくさん増えました。
- ・身長が伸びたし、成績も少しずつ良くなってきた。それと、剣道では、初段に受かったりした。
- ・友達が去年に比べてとても増えた。
- ・何かに自分で自ら積極的に参加する力を伸ばすことができたと思います。
- ・テストでいい点取れた。色々なことに挑戦してみた。
- ・自分から積極的に学校の行事に参加できるようになった。
- ・私は計画性が成長したと思います。
- ・アメリカに住んでいて日本語がすごく難しくて漢字とかが読めなかったが、この学校に来ていろいろな漢字を学び使えるようになりました。人の気持ちがわかるようになった。
- ・人の気持ちを理解できるようになりました。
- ・英語が聞き取れるようになった。
- ・私はこの学年で、今まで以上に、自分のやりたいことを行動に移せる力が成長しました。単純な興味だけで動いていますが、それだけでも作曲、3Dモデリング、プログラミングなどなど。この学校じゃなきゃできなかったことがたくさんできました。
- ・英語を外で活用することができた。
- ・プレゼンデイに出たこと。決して満点のプレゼンではなかったけれど今までと違う感動を味わえた。
- ・英語のクラスが一つ上がって周りの英語のレベルがかなり上がっていたが、それに追いつけるように努力し、自身の英語のレベルが上がった
- ・私は小学校の時と比べて、周りを見る力を伸ばすことができたと思う。例えば、誰かが困っていたら、言われる前に気づいて行動にうつす事、誰かが勉強していたら少し静かにすること、人の気持ちを考えることなど、それらへの考え方が少し大人になったと思う。でも、友達を傷つけてしまったり、空気が読めなかったりすることも多くあるため、それを改善できるように過ごしたい。
- ・時間の大切さを学びました。同じ学年だけでなく他学年ともすごく関わりました。
- ・仲の良い友達を増やすことができた。困った時に助けてくれる友達の優しさに感激した。協力する力。成績がのびた。英語力が少しは伸びた。
- ・コミュニケーションが向上した。
- ・人として成長した。
- ・成績があがった。
- ・勉強とスポーツの両立を成し遂げることが出来た。10、11年生の時は勉強に力を注ぎすぎて、スポーツを疎かにしていたけど、12年になってどちらも均等に力を注ぐことが出来るようになった。
- ・個性強い学年であったので、コミュニケーション能力が伸びたと思います。
- ・数学に対して、深く学ぶこと。
- ・院内や他の生徒の受験があり、より良い方向に緊張されながら学び続けられました。
- ・進学に向けて動いた。
- ・大学受験をして、合格して、小さい頃からの夢に近づくことができた。
- ・この学年通して様々な人と交流して、相手を受け入れる大切さを学んだ。
- ・この学年で私は勉強を頑張ったので勉強面の成長があった。苦手な数学・社会のテストで自分が満足できる以上の点数を出すことができたから。また、新しいことに挑戦した年になった。ロスフラワーを使ってキャンドルや花束の販売を二日間学校外で行ったこと。
- ・今年は大きな決定、決断をすることができました。またさまざまな活動に参加したりなど、活動的に取り組めたと思います。そこには達成感や感動もありました。
- ・受験をみんな応援してくれること。

- ・自分とは異なる価値観を受け入れ、理解する能力を身につけることができた。
- ・プレゼンで優勝できた。
- ・この学年ではいろいろな場所に行き、文化の違いなどについて感じる事ができた。また、他にも資格を取るために勉強をしたりすることができた。
- ・物事の考え方の変化...論理的に、客観的にものを考える。
- ・仲間や先生や環境に対してリスペクトを持って勉学に励んできました。
- ・部活でいろいろできるようになりました。
- ・色々な成長。
- ・自分で履修を考えたり、何を学びたいか考えたりしていたので自己管理能力が上がりました。
- ・色々な授業をとることができて自分の得意なことを追求することができる。それにより得意なことが増えて褒められる機会も増えました。
- ・今まではアンスケの時間が少なかったため、友達と話すことが多かったが、12年生になってからアンスケの時間を活用して資格の勉強を始めた。最後のスポーツデイで優勝することができたため、ダンス練習した成果が出たと思った。
- ・プレゼンテーションする力が着いた。そして計画して自分で課題に取り組む力が完全ではないがだんだんについてきていると感じる。他の学校だったらテストだけで成績をつけられてしまうが、この学校は他にも考慮される項目があって私にとってとても良い。
- ・勉強面においては様々な新しい知識を身に着けた。学校行事では初めて高校生になり、中学生の手本になるという責任感とリーダーシップとしての成長があった。
- ・人として成長できた。
- ・中等部にいた時よりかは、趣味の合う先輩と話す機会が増えたことに感動しました。
- ・今年は学外活動に多く励むことができ、自分の学びにつながる大きな気づきがありました。私は学校では成績は良い方で積極的に学ぶ姿勢があると思っています。しかし、活動で学外の人との関係を築くことができたと同時に、同年代でもその人々と比べると自分の学びのレベルがとても低いと実感しました。努力がさらに必要だと感じました。
- ・この6年間で多様性の変化と今後の社会で多様性の大切さについて学んだ。
- ・進路について具体的なビジョンを見つけるための道をみつけることができた。
- ・行事を通して学年の人と協力して何かを作り上げることができました。
- ・部活に入って、人前で発表したことで人前が慣れてきたのと、自分の発表したことに興味を持ってくれる人がいて感動した。
- ・それぞれの個性を尊重しながら6年間過ごせた。
- ・生徒会を通してリーダーシップが上達した年であった。
- ・コミュニケーション能力を上げたり、色々な人と話したりする成果をあげました。今までそんなにたくさんの人と仲良くなることがなかったので嬉しかったです。
- ・スポーツデイで学年一丸となって競技を応援したり、パフォーマンスの練習を頑張り、2年連続で1位を取ったことが一番感動し、印象に残っている。
- ・部活動や勉学などで、自身の成長がありました。
- ・私はこの学年から履修登録が始まり、初めての事で分からない事も沢山ありましたが、何度も行う事に慣れていきました。他にも、勉強面で成長したと思います。
- ・今年はASPのオーケストラやピアヘルパーに積極的に参加することができた。
- ・今まで自分の意見をいうことに自信がなかったことに加え、誰かの考えに意見することができなかったが、今年Discussion Skillの授業を履修してそれらができるようになった。
- ・人との関わり方、他の人の意見の取り入れ方が今までと変わって相手の意見も尊重できる人になった。
- ・この学年は自分にとって大きな成長になったと感じています。なぜなら自ら将来どうしたいかを考え、より多くのことを学ぼうと考えたからです。それから、新しいことにも挑戦できたので、自分自身は色々頑張れたかなと考えています。

- 自分のキャパシティーを知り、日々の生活でバランスをとることができるようになりました。
- 入学してから今までの時間で、心強い友達や先生方の支えのおかげで自分自身の理解を深めることができました。特にシニアとして一年を過ごして、今まで以上に周りの人への感謝の気持ちを再確認しています。
- 目標に向かって努力する力、また責任を持って任せられた仕事をこなす力が成長したと思う。

保護者への自由記述質問：学校生活を通して、お子様の成長、達成した成果、共感や感動などをお知らせください。Share your discoveries of your child's growth, achievements, empathy and excitement through their school life.

- 10年のこどもは自ら考え行動する力が非常に身についてきたと嬉しく思っています。パソコン技術も上達し、授業で使用する為学べたものだと感じています。世界に対して目を向けて考えるようになり、固定観念を持たずに受け入れるようになっていきます。7年のこどもについてもパソコン技術が上達し、ある程度は不自由なく使用出来るまで上達しています。これから徐々に成長出来る事を願っています。
- さまざまな生徒教員がいる環境において、その中で自分というものをどう置くべきか考えられるようになった。日本社会においては大切なことだと感じる。
- ボランティア活動に参加するようになりました
- オープンスクールのボランティアや卒業式係への参加など、自ら手を挙げて、自主的に学校や周りの人達の役に立とうとしているところがすごいと感じています。
- 困難な状況に直面した時 我慢するだけでなく 客観的視点も忘れずに先生、友人に相談しながら解決しようとする姿勢を見た時 成長を感じました。自分から積極的になれる雰囲気、周りの皆さんが協力的な事がSISの魅力だと思います。
- 自分で考える環境になり、失敗も多いですが確実にそこから学んでいると思います。
- 様々な事に興味を持ち、チャレンジしていく姿に感動し、応援しています。
- 今までやったことのないストリングスですが、授業のみで、楽しくそしてこんなにも素晴らしい演奏会にも参加させていただく事ができ、本当に感謝しております。
- 今年もメイプルホールでのコンサートに参加させていただき、その舞台姿に成長を感じ感動いたしました。
- Savers swimming でキャプテンとして活動したり、その他のクラブ活動や授業でのビデオ制作などのチームワークにも積極的に参加して、実りある1年でした。素晴らしいご指導ありがとうございました。
- 物事の判断が冷静になっている。
- 学年を問わず、学校の仲間と繋がりをとうして毎日とても充実している様子が伺える。
- いろいろな方面で秀でているお友達が周りにいるようで、尊敬しつつ自分自身も高めていっている様子を見ていて我が子の成長を感じる。
- 大学受験を通して、子どもがしっかり自分の事や将来の事を考えていることを感じた。
- 提出物の期限等を守れるようになったり、少しずつ自分で管理できるようになってきた事。
- 少しずつですが、自主的に行動できるようになりました。
- 何にでも積極的に挑戦するようになった。
- 水泳部で遠征メンバーに選ばれるように頑張って練習し、今回のメンバーに選ばれた。
- 自分の行いに責任をもち、自由であることとその責任をもつという事の大切さを理解して自分のスピードで物事をしっかり考えてすすんでいけていると思います。高校生になり、とてもしっかりしてきた印象です。頼もしいです。ありがとうございます。
- Our daughter has been blessed with handful of good friends to whom she can open up her feelings and vice versa in listening to the concerns of her friends which is helping her to broaden her views, as well as in cultivating empathy for others. She feels indebted to so many caring teachers that she speaks well of them and she is learning to imitate their kindness in her own ways. Academically, she struggles in some subjects, but she is discovering her strength in English and we are very pleased that she has stepped outside her comfort zone to pursue higher level of English. Overall, these 6 years in SOIS has helped her discover her identity, gave her a general sense of direction as what kind of person she wants to become and how she would go about realizing it.
- 毎日とても充実した日々を送っている様で、将来的な事など、考えた方が随分しっかりしてきた様に思えます。

- ・自分は少し控えて、友達を大切にできる心が育ち、お互いに尊重し合える良い関係性が築けるようになった。
- ・6年間に及ぶ日々のたくさんの課題やレポートや宿題のお陰で、毎日の日々の努力が大きな結果に繋がる唯一の方法だと体感経験させて頂いたと感じております。これは今後の人生の大きな肥やしになると信じ祈っております。
- ・自己管理をいつからか自然にできるようになった。
- ・学業に対しては、成績表や参観以外あまり目にする機会はないですが、各イベントへの取り組みや団結力、クオリティは素晴らしいと思う。またそれが各生徒の自己肯定感を高めるものに役立っていると思う。
- ・周りの良い影響を受け色々なことに自分からチャレンジできるようになったこと。
- ・8年生はよいお友達に恵まれて楽しい学校生活を送っており、11年生は学校課題に真剣に取り組んでおり、充実した学生生活を送っている様子にありがたいなと思っています。
- ・英語に関しては書く力、話す力、ボキャブラリーなど非常に成長を感じます。英語の先生もレベルによって違いますが、上のレベルの先生の指導は明確に結果につながっているように思います。
- ・インターナショナルフェア時にはドッジボールの仲間と共に協力しながら盛り上げていたところに成長を感じました。かなりシャイな性格なので皆と何かを成し遂げる事が出来た事に感動致しました。
- ・色々な地域からの人と出会ったことによって、固定化されていた考えが、だんだんと柔らかくなっているように思います。
- ・自主的、能動的に動くこと。他を思いやる気持ち。自立。多様性の認識などが培われたと思います。
- ・寮生活を送っていますが、家での生活態度とは違うようで、今のところイエローカードをもらわずに過ごしているようです。
- ・苦手な友達との関係を、時間と距離を上手く使いながら改善させていけるようになった。セイバーズを通じて他校の友達が増え世界観も広がっていることがよいことだと感じている。
- ・卒業の単位は取り終えたということで、興味のある授業を登録したと、楽しそうに話しています。
- ・ビオラや社交ダンス、剣道など普通の学校では経験できないようなことを経験できているところに感動しました。
- ・クラブ活動、英語授業内容は、子どもの成長を感じる
- ・自分自身の選択で物事を決めていけるようになったこと。
- ・2022年に神戸大学のROOTプログラムに応募し、基礎ステージから実践ステージ生に選ばれ、現在神戸大学と岡山大学の先生にアドバイザーとしてサポート頂きながら研究を続けています。来年1月に開催されるサイエンスフェアIN兵庫にてポスター発表をする予定で現在研究やポスター制作の準備をしています。ここまで研究の世界に没頭するとは思っていませんでしたが、ROOTプログラムをきっかけにやりたいことが見付き、まだ毎日充実しているようです。お声掛けいただきサポートいただいている理科の先生方にとっても感謝しております。ふとしたことが、きっかけで、子供の学生生活が大きく変わることに驚いております。
- ・深く物事を考えるようになりました。
- ・息子が学校で独りでいることに慣れたこと。
- ・英検2級 取得。
- ・読解力。
- ・自立自律自主的に、大きく成長したと感じております。
- ・自ら学ぶ姿勢に成長を感じた。
- ・シーズンスポーツを通して、他の学校では経験できない多様な経験ができています。また少ない練習時間にも関わらず、ミュージックで合奏もできていて、指導力は素晴らしいと思う。ITスキルも実社会でも困らないレベルだと思う。

- ・自身のこれからを、一つの目標から逆算して今できることに集中できるようになりました。それを自分で組み立てていけることに感心しています。自分で見れる範囲は限られており、仲間や先輩方の力を借りることも意識できているのは素晴らしいと思います。
- ・日本語が上達した。
- ・理不尽な先生の事をも否定するのではなく理解しようと努める姿にびっくりさせられました。
- ・クラブ活動を通じて、周りの人との連携や、協力の必要さを学んだ一年になりました。
- ・入学1年目は課題などのスケジュール管理がどうなることかと思いましたが、さすが三年にもなると意識が変わってきて自主性の成長に驚いています。
- ・通わせていただき、はや2年弱ですが 自立心が養われてきたと感じております。毎日楽しく通えていることにも感謝しております。
- ・公文式の奨学金懸賞作文向けて、自らテーマを選び、推敲し、作品として期日内に仕上げたこと。その結果が落選であったことを静かに1人で受け止めて、次に頑張ろうと言えたことに、精神的な成長を感じました。
- ・まだ編入して間もないので成長や成果はわかりませんが、フレンドリーな生徒さんばかりで皆さん良くして下さり、すぐにお友達もできて楽しく過ごせています。
- ・自分でものを考えて行動することが当たり間にできている。すごいと思う。
- ・セイバーズにおいて、ハイスクールの生徒との関わりが深くなり、とても刺激を受けた。
- ・自分らしく学校生活を楽しみながら送れているようです。
- ・友人関係が恵まれている。
- ・英語が上達しました。
- ・毎日楽しそうに学校に行っている。
- ・自分で考えて色々対応するため、保護者は相談があれば乗る、という程度に自立してきたように思います。
- ・明るさ、社交性、行動力、高い目標を目指して努力する姿勢が一層高まりました。先生方とお友達の皆さんのお陰です。受験への応援にも感謝しています。
- ・自分の行動は自らの責任だと自覚し行動するようになってきました。学業もさることながら、ひとりの人として考えることが出来るようになってきたと感じます。
- ・11年になりましたが、HSになり学校の数多くの行事に参加し、学年を超えての交流や経験をさせてもらったことで本人がやりたいことや興味が深くなってきたように思います。温かく見守って下さる先生方や友達のおかげだと感謝しております。
- ・以前は、自分から行動を起こすようなタイプではなかったが、この1、2年は自分から動くことが増えた。
- ・よくも悪くも、ずっと変わらず、マイペース。思春期で難しかった、というような事が一切なく、コツコツと頑張っているのは、学校や先生やお友達のおかげだと、日々感謝しております。ありがとうございます。
- ・子どもが11/17のプレゼンテーションデイのため夏休みから他者に伝えたいテーマを決めてスライド作りなど準備をしていたことに成長を感じた。
- ・12年生になってようやくSOISの文化と教育システムが唯一無二のものであると気がついたようです。これまでの枠を超えてOISの生徒たちと仲良くなったりいろんなことにチャレンジしたり、思い出いっぱい1年になったと思います。ありがとうございました。
- ・大きく成長したと感じる点は、プレゼン力・ディベート力が身についたことです。千里国際で力を入れている指導方法だと感じます。日本人はとかくディベート力があまりないと叩かれがちですが、それを払拭できる取り組みであり、この学校を選んで正解だと思う1番の理由です。子供本人はプレゼン準備に四苦八苦しているときもありますが、社会に出たとき1番の即戦力になる技術も今身につけていること、同年代でこんなにプレゼン・ディベートができる人は多くないと励ましながら取り組んでおります。

- ・ 息子は1人の人間として自分が友人にも先生方にも認められていることを日々感じて幸せな高校生活を送っています。当たり前のように変化の多いこの時期にともすれば画一的になりがちな学校という枠組みを新しい形で実現している関西学院千里国際の教育に日々共感しています。
- ・ 自分で計画を立て進めていく力がついたと思います。
- ・ 自分の意見をはっきり言うことに躊躇しなくなった。違って当たり前という感覚が身につき、自分や他人の個性を尊重するようになった。
- ・ 自分で考えて行動を取るのが当たり前になっているように思います。先生方が、学外のイベント等の情報を教えてくださることで、初めて知る事が多く、それに参加したことが子どもたちにとっても良い経験となりました。親にはできないことなので、大変ありがたく感謝しております。
- ・ 必死に中学受験をして入学出来たおかげで振り返るとアクセル全開でスタートしたように思います。今11年で4月からは最終学年。1人で何事にも取り組んで時には仲間と交流する力がついてきているように思います。個性的なメンバーが多く、時にはグッタリしてますが自己主張出来るように成長しているように思います。
- ・ 多様な背景を持つ同級生や先輩たちに刺激を受け、我が子自らまた新たな目標を持つことができたようで良かったと思います。
- ・ 自分の意思で考え、行動する事が出来る様になった。
- ・ コロナ禍での海外からの編入でしたが、3年半、素晴らしい環境で教育を受けさせていただきありがとうございました。恥ずかしながら本人はドラム演奏等に夢中で学業にはそれほど身が入っていなかったかと思いますが、音楽の授業などで得意なことを披露する場を何度もいただき、伸ばしていただけたことを心より感謝しています。
- ・ 第2外国語の学習。
- ・ 英語力向上。
- ・ 自分の学びたい事、やりたい事を実現するためにはどうしたらいいのかを自ら考え行動できるようになったと思います。
- ・ 編入後、学習面及び日常生活において自分てものことを決めて行動するようになりました。
- ・ 課題をこなしながら、イベントにも参加したりと、スケジュール管理が上手くなりました。色んなクラブへも積極的に参加できるように成長しました。
- ・ 積極的に色々な事に参加するようになった。
- ・ バンドやストリングスの上達が素晴らしいと感じました。全く初心者からある程度楽器を演奏できるようになり、ミュージックのご指導が素晴らしいと感じました。
- ・ セイバーズで仲間と共に勝ちに行く姿に逞しさを感じています。
- ・ になりたい職業が明確になった段階で、そこに標準を合わせて授業を選択し、塾も活用しながら勉強を頑張っていました。先生方のお力添えもあり、無事に推薦で希望の大学に合格する事が出来ました。合格発表の瞬間は人生最大級の喜びようでした。ありがとうございました。日頃の授業や課題に対して、手を抜かずやり抜きたいという気持ちが強く、自身の能力以上の課題やテストに向き合わなければいけない時にも、遊びや睡眠に流される事なく努力し続ける習慣が養われました。ただし頑張りたい気持ちに反して、身体が悲鳴を上げる事があったようです。理数探究の授業では大好きな馬に関する研究を行い、兵庫県生物学会にも参加させて頂き、生物学会長賞まで受賞出来ました。理系の学会で評価された事は大きな自信に繋がりました。
- ・ 自ら調べ、自己管理しよう、行動しようとしている姿が見られます。
- ・ 長く海外で生活していたこともあり、転入という形で入学で学校生活になかなか馴染めなかったのですが、いろんなことに挑戦したり、出会ったり、学んだりする機会をたくさんいただいたことで、新しい世界に視野を広げていく姿に感動しました。
- ・ 子ども達は自分の考えや気持ちを表現（言語化）する力がついたと感じます。また、受け身ではなく、能動的に行動することの大切さを学び、実行に移せるようになったと感じています。SISには生徒自らが前に踏み出す力、自ら考え抜く力を育める環境があると感じます。
- ・ 人間関係について悩み、自分なりに答えを見つけることができた。

- ・積極的に楽しく学校に通っているようです。
- ・自主性を重んじてくださる部活動や課外活動のおかげで、娘は益々自分らしさを発揮して、充実した日々を送ることができています。また、学外の生徒と交流することで（MUN、高校生国際交流の集いなど）、他校とSISの違いを改めて認識し、自分自身を振り返る良い機会を得られています。
- ・スケジュール管理。ぎりぎりなこともまだ多少あるが課題提出やテスト勉強など自分でコントロールできている。家庭でのお手伝いも積極的に、特に料理は手際も良く感心しています。
- ・自己管理能力や自律性が身に付き、多様性が豊かな環境の中でより国際的な視野も広がったと思います。
- ・様々な価値観に触れる機会を持つことで、より協調性を持って学校生活をおくれるようになったと思います。
- ・とても充実した学校生活を送らせて頂いております。
- ・コミュニケーション能力の向上。
- ・学校生活において委員活動やSabers等も含め、自分の意見や考えを持ちつつ、傾聴できるようになってきた所に成長を感じています。
- ・入学したてのときはどうなることやらと思いましたが、いい先生、友達に支えられ、娘はどんどん変わりました。のびのびと過ごしています。
- ・以前より多くの事を一人でするようになったと思います。例えば、今までは一人でできなかった宿題を自分でなんとか解決しようとしています。
- ・自分で計画を立てて、将来について考える様になりました。
- ・積極的に取り組むようになった。
- ・自立。
- ・自分で考えて行動するようになり、頑張る姿勢が見られました。その成果が2学期の成績に表れて成績が上がりました。
- ・多様な価値観の尊重。

教員への自由記述質問：生徒の成長、ご自身が達成した成果、共感や感動などをお知らせください。

- ・今年度は、初めて他教科（理科）との共同授業を企画・実践した。スケジュールの関係で成果が目に見える形にはできなかったが、他教科との横断授業の方法についてクリアにすることができた。今後は理科だけでなく社会とも連携することができると、生徒の理解を深化することができると思う。
- ・生徒たちが主体的に学校の魅力を外部に発信する機会を設けました。この取り組みにより、生徒たちの愛校心や自己表現が顕著に向上しました。彼らは自分たちの学校生活や達成した成果を、創造的かつ情熱的に伝えることができるようになったのではないかと考えます。私個人としては、彼らの成長を支援し、フィードバックを提供することで、彼らの自信と能力をさらに伸ばすことができたように思います。PRプロジェクトは、学校の良い側面を広く共有するだけでなく、生徒たちの自己発見と自己表現の場としても最適な機会にもなりました。
- ・今年度、久しぶりに10年生を受け持ち、1年ぶりに受け持った彼らの成長を嬉しく感じました。特に、男子生徒数名は、ミドルスクールの頃、課題や勉強の取り組みに対する指導に苦労しましたが、今では積極的に学習に取り組み、わからないところは自主的に聞きに来るなどするようになりました。また、コミュニケーションに心配があった生徒も、少しずつ他の生徒達と同じように接してくれるようになったことも嬉しく感じました。
- ・生物部の活動で上の学年の生徒が下の学年の指導や励ましなどを行っている場面を目にすることが多くあり、中学の時からクラブで活動する生徒だったので、大変感動いたしました。
- ・学年運営を問題なく行えていること。
- ・生徒の成長：日々の授業で感じています。特に、探究的な学びの中で、自分で課題やRQを設定し、論理的、批判的に分析し、表現する力が高まってきていることに感動します。また学級活動でもより多くの生徒がリーダーシップを発揮し、学年や学校に貢献することができている点も素晴らしいです。課外活動においても、自分を犠牲にして多くの時間を割いて他者へ貢献する姿勢が見られ、そんな生徒たちを本当に尊敬しています。
- ・私の成果：授業面では、日々の授業を少しでも改善しようと毎学期努めています。ただ、目にみえる客観的な成果というのではないかもしれません。HR活動でも、チームワークを大切に、丁寧に、他の先生方、生徒たち、保護者の方々に対応してきたつもりです。外部での教育内容の発表や貢献も、昨年以上に行うことができました。正直うまくいかない点もありましたが、それも含めて良い学びになったと思っています。
- ・高校保健の教材の見直しに時間をかけたことに加えて、12年の進路指導、推薦書作成、面談にかなりの多くの時間を割きました。このまま、生徒同士の人間関係のもつれがひどくならないことを祈っています。
- ・文章構築が苦手と思われる生徒に「テクニク」を教えたら、FSRDの2学期（特に夏明け）から格段に文章構築能力が躍進したこと。
- ・1年を通して、生徒をどう導くかを意識しながら7年生を進めていきましたが、1教科の進め方一つで生徒の感覚、考え方が劇的に変わるという結果を生み出すことができなかったのは残念でした。いろいろな相互作用はあるとは思いつつも、やはり縦のつながり、横のつながり、教科のつながり、すべての教員が学年や学校の達成目標を共有しながら進めていくような組織の動きが出来ない限り、変革というものは起きないだろうなと感じています。
- ・探究科目と行事に関し、より発展させた内容にチャレンジすることができた 演劇活動において多くの結果を残すことができた（地区大会突破、探究授業への導入、KG高等部とのイベント共同開催など） またそれを通して多くの感動と成長を産み出すことができた。
- ・生徒とは仕事上距離があるため、あまり生徒の成長は感じていませんが、2年間、コーチに感謝し続け、そういう意味ではコーチ陣たちが感謝を自分たちでも言い始めてくれたように感じます。人に感謝を伝えているのは、そういう意味合いもあったため、これからも感謝し続け、言い続け、その人たちも、またよ

り多くの人たちが感謝を実際に口に出せるように、していければと思います。また、財を残して3流、知を残して2流、人を残して1流と私は思っていますが、自分の力などではないですが、この人は専任にしなければならなかった人が、専任になることができてよかったです。自分がどれだけ貢献できたかわからないですが、2年前に、3年以内に達成しなければならいことの1つとして掲げていたため、よかったです。そして、自分が達成したこと、あるのかもしれませんが、細かいことをあげれますが、大きな意味ではまだありません。それができるよう、時間をかけて、しっかりと土台をつくり、それができるような時間を作りたい、そのために、今土台作りを頑張らないと行けないと思っています。1歩進んで、視野が広がり、奥まで見えるようになり、道がさらに延び、1歩が進んだ1歩なのか、よくわからなくなります。まあ～達成した成果といえるほどのものは、まだまだ先にありそうです。

- 集団の特性を改めて認識した。2-6-2を3-6-1にしていけるような機運を感じさせる。
- 自分自身としては継続して委託研究を行いつつ、最先端技術に惑わされることなく、効果的に教科の特性を考えることができた。
- 初年度であるため、また全てを把握できた実感はありませんが、日々の生活で生徒と関わることで、また同僚との交わりを通じて、生徒の成長を実感する場面が多々あります。担当している授業の特性にも関わりますが、概念や価値観に関して、特に、秋学期の後半から、生徒の発想が広がったと感じる場面と出会う事が多くなりました。自身としての成果と言い切ることは出来ませんが、生徒自身が多くの機会や体験を有機的につなぎ合わせる事が出来ているように思います。また、授業だけに留まらずBCに関わる生徒の成長に関しては著しい成長を見せてくれる生徒と、まだまだ停滞している生徒との二極化が見られます。要支援の生徒へのアプローチを更に深めて行くことを求めたいと考えています。
- 「先生、今日は何すんの？」と理科の授業を楽しみにしてくれている様子が窺えた（特にG8）。教材開発も積極的に進めることができています。Learning Fairを今年も開催した。生徒と一緒にバンドを組んで演奏することができた。普段の学習活動だけでは見ることでできない生徒の一面を見ることができた。Learning Technologies Teamでは、革新的で意味のあることを実践し共有したいと考えている同僚と仕事をすることができている。お互いをリスペクトをすることができている。